

令和2年度大学入学者選抜 大学入試センター試験 受験案内

出願期間 令和元年 9 月 30 日(月)
～ 10 月 10 日(木)(消印有効)

試験期日 令和2年 1 月 18 日(土)・19 日(日)

★ 障害等のある方への受験上の配慮を希望する場合は、「出願前申請」ができます。

出願前申請受付 令和元年 8 月 1 日(木)～9 月 27 日(金)

この「受験案内」は、大学の入学手続が終わるまで大切に保管しておいてください。

はじめに【必ず読むこと】

この冊子には、「検定料の払込みなど、大学入試センター試験の出願の際に誰も行わなければならない重要な手続」と「受験票の再発行申請など、いざという時に必要な手続」が解説されています。

出願前に必ずこの冊子を精読し、出願手続や試験の制度について十分に理解するようにしてください。

1 志望大学の利用教科・科目の確認

大学入試センター試験を利用する大学は、入学志願者が大学入試センター試験において解答すべき教科・科目やその成績の入学選抜における取扱いなどを、それぞれ定めています。志望大学の募集要項等をよく確認して、大学入試センター試験を受験してください。

2 受験教科の事前登録

大学入試センター試験を受験するに当たっては、受験教科等について出願時に登録する必要があります（→p.13）。

登録を正しく行わないと、希望する教科等を受験することができませんので、制度の内容をよく理解した上で出願してください。

3 登録内容の確認

大学入試センターは、出願書類を受理した後、**確認はがき**（出願受理通知）を10月28日（月）までに届くように送付します。確認はがきは、大学入試センターに出願が受理されたことを通知するとともに、志願票記入事項のうち、受験教科等の特に重要な登録内容を記載したものです。受領後は直ちに登録内容に誤りがないかを確認してください（→p.26）。

万一、登録内容に誤りがある場合や、志願票への記入誤り等により登録内容の訂正が必要となった場合は、直ちに大学入試センターに届け出てください。

また、大学入試センター試験の**受験票**（12月16日（月）までに到着）にも登録内容を記載しますので、再度、確認してください（→p.30）。

4 リスニングで使用するイヤホンの確認

リスニングではICプレーヤーを使用し、イヤホンで音声問題を聴取しながら解答します。リスニング受験希望者はイヤホンが耳に合うかを事前に確認し、イヤホンが耳の形に合わず装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時に**イヤホン不適合措置**を申請してください（→p.43）。

使用するイヤホンは、在学する（又は出身）高等学校等や大学入試センター試験利用大学で実際に試してみることができます。

なお、試験当日にイヤホンが耳に合わないとしり出ても、対応しません。

5 障害等のある方への受験上の配慮

大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法等について配慮を希望する場合は、**受験上の配慮**を申請することができます。

この受験上の配慮については、配慮内容によって審査に時間がかかる場合もあるため、出願前に申請（令和元年8月1日（木）～9月27日（金）まで）を受け付けます。受験上の配慮を希望する場合は、できるだけ出願前に申請を行ってください（→p.16）。

目次

A 試験概要

- 1 令和2年度大学入試センター試験実施日程2 ページ
- 2 出題教科・科目等3
- 3 試験期日・試験時間割5

B 出願

- 1 出願資格と証明書類6
- 2 出願期間と出願方法等11
- 3 受験教科の事前登録13
- 4 障害等のある方への受験上の配慮15
- 5 成績通知17
- 6 志願票の記入方法18
- 7 検定料及び成績通知手数料の払込方法24

C 出願後

- 1 確認はがき（出願受理通知）～登録内容の確認26
- 2 受験票・写真票・成績請求票30
- 3 試験場の指定32
- 4 出願後の各種手続34
- 5 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮38

D リスニング

- 1 リスニングの概要39
- 2 リスニング受験上の注意39
- 3 リスニングの進行40
- 4 ICプレーヤーの操作体験42
- 5 イヤホンが装着できない場合43
- 6 解答時間中の事故等と再開テスト44

E 試験

- 1 受験に当たっての主な注意事項45
- 2 追試験及び再試験50

F 試験実施後

- 1 正解・平均点等の発表51
- 2 得点の調整51
- 3 試験成績の大学への提供方法52

G その他

- 1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜53
- 2 志望大学に確認すること53
- 3 個人情報の取扱い54

H 高等学校等コード表

- 1 高等学校，中等教育学校，特別支援学校，高等専門学校55
- 2 高等学校卒業程度認定試験等，外国の学校等，文部科学大臣の指定した者，認定，在外教育施設，専修学校の高等課程72

A
試験概要

B
出願

C
出願後

D
リスニング

E
試験

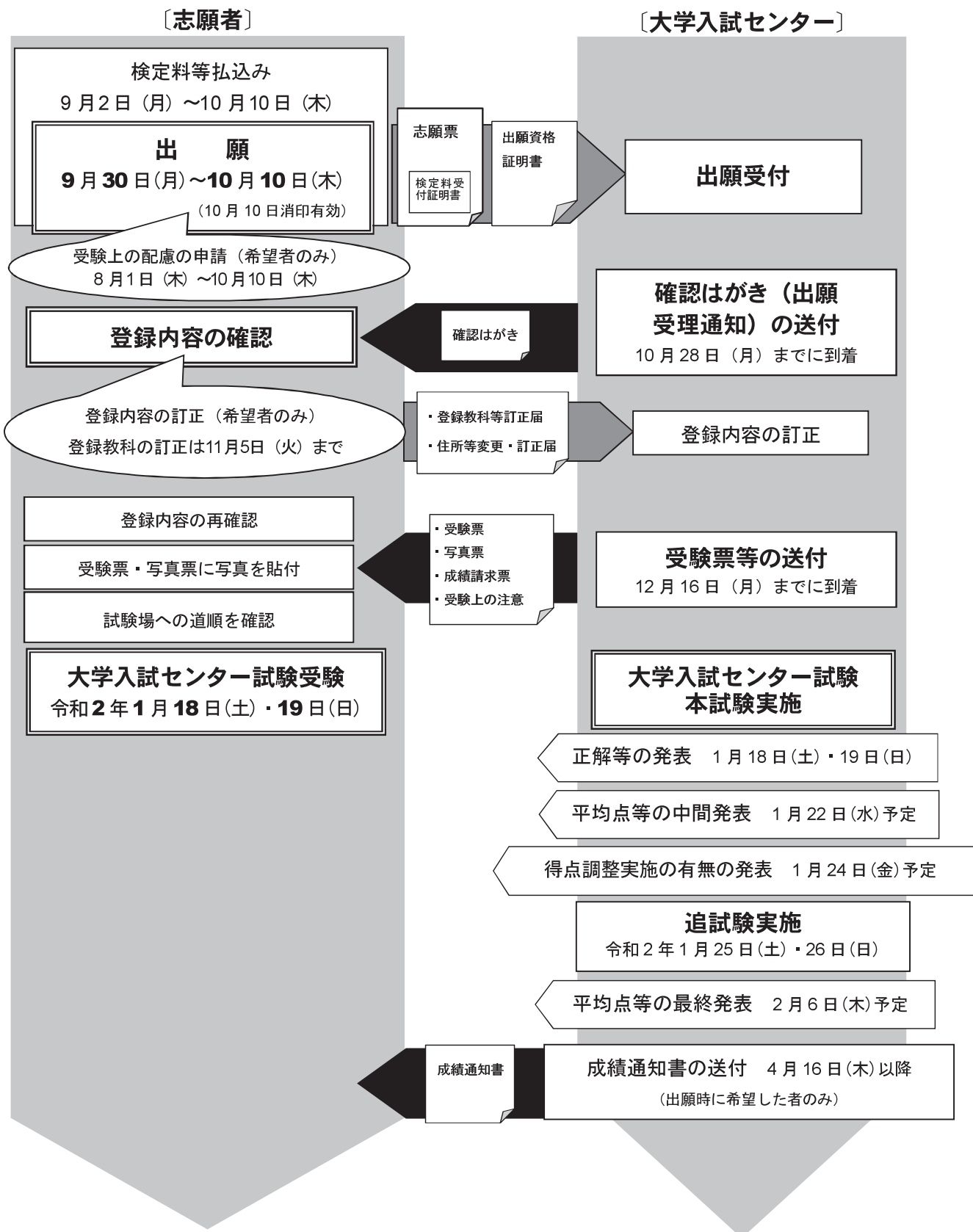
F
試験実施後

G
その他

H
高等学校等コード表

A 試験概要

1 令和2年度大学入試センター試験実施日程



2 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (→注1)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する(→注2)。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(→注3)。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注4)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数学	①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	60分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」※ 「情報関係基礎」※	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (→注5)
	②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」には、一部に選択問題を配置する。	A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (→注4)
外国語		「英語」 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※ (→注6)	「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とする。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】 (「英語」のみ) 60分(うち解答時間30分) (50点)

- (注 1) 国語及び外国語（「英語」を除く。）は、各教科について 1 試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて 1 試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、筆記とリスニングに試験時間を分けます。
- (注 2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2 問 100 点), 古典(古文(1 問 50 点), 漢文(1 問 50 点))」とします。
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は 80 分です。
- (注 3) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史 A」と「世界史 B」, 「日本史 A」と「日本史 B」, 「地理 A」と「地理 B」, 「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の組合せを指します。
- (注 4) 「地理歴史, 公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は、解答順に第 1 解答科目及び第 2 解答科目に区分し各 60 分間で解答を行いますが、第 1 解答科目及び第 2 解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は 130 分とします。
- (注 5) 「理科①」については、1 科目のみの受験は認めません。
- (注 6) 外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い 30 分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付した IC プレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は 60 分とします。
なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

3 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (→注 1, 2)
令和 2 年 1 月 18 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」 「世界史 B」 「日本史 A」 「日本史 B」 「地理 A」 「地理 B」 「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	2 科目受験 9:30～11:40 (→注 3) 1 科目受験 10:40～11:40 (→注 3)
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 ----- 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
1 月 19 日(日)	理 科 ①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	9:30～10:30 (→注 4)
	数 学 ①	「数学 I」 「数学 I・数学 A」	11:20～12:20
	数 学 ②	「数学 II」 「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	13:40～14:40
	理 科 ②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	2 科目受験 15:30～17:40 (→注 3) 1 科目受験 16:40～17:40 (→注 3)

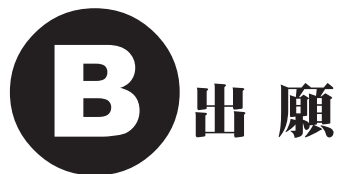
(注 1) 試験室への入室終了時刻については、受験票 (→p.30) とともに送付する**受験上の注意**で明示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 「地理歴史, 公民」及び「理科②」については、登録した科目数 (1 科目又は 2 科目) によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、試験当日に 1 科目のみを受験する (1 科目だけ受験を取りやめる) ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度 (「地理歴史, 公民」は 9:50, 「理科②」は 15:50) までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第 1 解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。

なお、第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は、トイレ等で一時退室することはできません (→p.45)。

(注 4) 「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を選択解答してください。1 科目のみの受験は認めません。



1 出願資格と証明書類

令和2年度大学入試センター試験に出願できる者は、大学入試センター試験を利用する大学へ入学を志願し、下表のいずれかの出願資格に該当する者です。提出が必要な資格証明書は、下表のとおりです。

* 出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願期間の前にできるだけ早く大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に問い合わせてください。

特に外国の学校等の資格で出願する志願者は、出願資格が認められない場合がありますので、出願前に出願資格の有無を確認したい場合には9月18日（水）まで（必着）に必要な書類を大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵送してください（→注1-1）。

出 願 資 格		資 格 証 明 書
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む）又は「中等教育学校」を令和2年3月卒業見込みの者		不要（学校長が一括証明）
「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む）又は「中等教育学校」を卒業した者		卒業証明書（原本） * 出身学校長が発行するもの * 発行年月日は問わない * 調査書・成績証明書は不可 * 旧姓（名）の卒業証明書を使用する場合は、「婚姻により（旧姓）から（現姓）になった」などのように、姓（名）が変わった理由を証明書の余白に記載すること
「高等専門学校」第3学年を修了した者又は令和2年3月修了見込みの者		第3学年修了若しくは修了見込みの証明書又は卒業証明書（原本） * 高等専門学校長が発行するもの
外国の学校等	外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者（→注1-1）	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma など）のコピー * 出身学校長が発行するもの * 国や学校によっては、これ以外の書類の提出を求めることがある
	上欄に準ずる者（→注1-2～1-5）	当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類のコピー * 当該教育施設の長が発行するもの 又は検定の合格証書のコピー * 検定試験実施機関の長が発行するもの
在外教育施設（→注2）	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者	修了（卒業）又は修了（卒業）見込みの証明書（原本） * 当該教育施設の長が発行するもの
専修学校の高等課程を卒業（修了）した者又は卒業見込み（修了見込み）の者（→注3）		卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの証明書（原本） * 専修学校長が発行するもの

出 願 資 格		資 格 証 明 書
文部科学大臣の指定した者 ＊昭和23年文部省告示	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者	卒業又は卒業見込みの証明書（原本） ＊学校長が発行するもの
	国際バカロレア資格取得者（➡注4） アビトゥア資格取得者（➡注5） バカロレア資格（フランス共和国）取得者（➡注6） GCEA レベル資格取得者（➡注7）	資格証書のコピー
	国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者（➡注8）	① 修了又は修了見込みの証明書（原本） ② 当該教育施設が認定を受けた証明書（原本） ＊いずれも当該教育施設の長が発行するもの
	その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）（➡注9）	卒業（修了）証明書又はこれに準ずるもののコピー
高等学校卒業程度認定試験等（問合せ等➡注10） ＊令和2年3月31日までに18歳に達するもの	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者	合格証書のコピー又は合格証明書（原本） ＊合格証明書は文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課に請求し入手すること ＊発行年月日は問わない
	高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者 ＊科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、高等学校等で令和2年3月31日までに修得見込みの者（➡注11）	高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書（原本） ＊文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課に請求し入手すること 又は次の①及び② ① 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「科目合格通知書」のコピー ② 試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書（原本） ＊①は文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課に、②は在学する学校にそれぞれ請求し入手すること
	令和元年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願している者	令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験出願資格申告書 ＊この申告書は令和元年度第2回高等学校卒業程度認定試験の受験案内に記載されている様式を使用し、作成すること
いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの		「その後に入学させる大学」において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたことを証明する書類（原本） ＊当該大学の学長が発行するもの
大学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者（➡注12-1～12-3）		認定を受けたことを証明する書類のコピー ＊当該大学の学長が発行するもの

(注 1-1) 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、我が国における大学入学資格が認められない場合がありますので、出願前に出願資格の有無を確認したい場合には、9月18日（水）まで（必着）に次のものを大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に郵送し（封筒の表面に「出願資格照会」と朱書すること。）、出願資格の有無を照会してください。

①当該課程の修了又は修了見込みを証明する書類（Diploma など）のコピー

②氏名、生年月日、住所、電話番号、小学校～高等学校までの履歴を記入した用紙（様式自由）

(注 1-2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。）

(注 1-3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は次表の上欄及び中欄に掲げる施設における研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程を修了したもの

上欄	埼玉県、大阪府、福岡県の各中国帰国者定着促進センター
中欄	北海道、山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター

(注 1-4) 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定する次の教育課程を修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者

＊ 次の教育課程については、適用開始日以降に修了した者に限ります。

外国の学校の課程の名称	適用開始日
ウズベキスタン共和国のシコーラ・スレードゥネヴァ・オブラゾヴァーニヤの課程	平成29年3月15日
スーダン共和国のアル・マドラサ・アッ・サーナウィーヤの課程	平成4年1月1日
ベラルーシ共和国のトレーチヤ・ストゥペニ・オープシェヴォ・スレドネヴォ・オブラゾヴァーニヤの課程	平成23年1月13日
ペルー共和国のエスクエラ・セクンダリアの課程	明治34年3月9日
ミャンマー連邦共和国のアテッタン・アスィン・ピンニャーイェーの課程（旧ビルマ連邦社会主義共和国のアテッタン・アスィン・ピンニャーイェーの課程を含む。）	昭和48年10月1日
ロシア連邦のオブシェエ・スレドニェエ・オブラゾヴァーニエの課程	平成21年10月6日

＊ 以上の教育課程については、今後追加されることがあります。

(注 1-5) 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた次の教育施設の当該課程を修了した者又は令和2年3月31日までに修了見込みの者

所在地	平成31年3月28日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	エスコーラ・インテルクトゥラウ・ユニフィカーダ・アルコ・イリス、コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	インドネシア学校東京、カナディアンインターナショナルスクール、東京韓国学校中・高等部（旧東京韓国学校）、東京国際フランス学園（旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ及び旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京柳北校）、東京中華学校
神奈川県	東京横浜独逸学園、横浜中華学院
岐阜県	コレージオ・イザキ・ニュートン
静岡県	エスコーラ・アウカンセ、エスコーラ・ノヴァ・エラ、セントロ・エドカショナル・イ・プロフィシオナリザンチーCEPブラジル
愛知県	コレージオ・ブラジルー・ジャポニ・プロフェッソール・シノダ
三重県	ニッケン学園

＊ 次の教育施設については、平成 18 年 2 月 6 日以降に修了した者に限ります（平成 18 年 2 月 5 日以前に修了した者は注 1-3 の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。）。

所在地	平成 31 年 3 月 28 日現在で確認されている教育施設の名称
茨城県	インスチット・エドゥカレ（旧エスコラ・ピンゴ・デ・ジェンテ）、エスコラ・エ・クレシエ・ド・グループ・オピソン
群馬県	インスチット・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウダ、インスチット・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ、エスコラ・パラレロ各種学校（旧エスコラ・パラレロ太田校）、伯人学校イーエーエス太田（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル太田校）
山梨県	アルプス学園（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル山梨校）
長野県	コレージョ・エ・クレシエ・サウ・エ・ルス、長野日伯学園（旧コレージョ・ピタゴラス・ブラジル長野校）
岐阜県	セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターパ、ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール、HIRO 学園エスコラ・ブラジレイラ・プロフェッソール・カワセ（旧エスコラ・ブラジレイラ・プロフェッソール・カワセ）
静岡県	エスコラ・ブラジル（旧エスコラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ）、伯人学校イーエーエス浜松（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール浜松校）
愛知県	エスコラ・サンパウロ、エスコラ・ネクター、伯人学校イーエーエス豊田（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール豊田校）、伯人学校イーエーエス豊橋（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール豊橋校）、伯人学校イーエーエス碧南（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール碧南校）
三重県	伯人学校イーエーエス鈴鹿（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール鈴鹿校）
滋賀県	日本ラチーノ学院（旧コレージョ・ラティーノ・デ・シガ）

＊ 次の教育施設については、平成 23 年 4 月 1 日以降に修了した者に限ります。

所在地	平成 31 年 3 月 28 日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン

＊ 次の教育施設については、平成 25 年 1 月 31 日以降に修了した者に限ります。

所在地	平成 31 年 3 月 28 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ブラジル課程に限る。）

＊ 次の教育施設については、平成 26 年 12 月 8 日以降に修了した者に限ります。

所在地	平成 31 年 3 月 28 日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	各種学校インスチット エドゥカシオナル ティー・エス レクレアソン

＊ 次の教育施設については、注 1-3 の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。

所在地	平成 31 年 3 月 28 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー課程に限る。）

＊ 以上の教育施設については、今後追加されることがあります。

＊ コレージョ・ピタゴラス・ブラジル真岡校（栃木県）、エスコラ・パラレロ伊勢崎校（旧エスコラ・パラレロ東村校）（群馬県）、セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ（埼玉県）、セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス（埼玉県）、エスコラ・パラレロ伊那校（長野県）、インスチット・エドカシヨナル・エマヌエウ（岐阜県）、エスコラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチュ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ（静岡県）、エスコラ・ニッポ・ブラジレイラ（静岡県）、コレージョ・アウレオ（愛知県）、京都韓国中学（京都府）、セントロ・エドカシヨナル・ノヴォ・ダマスコ（長野県）、コレージョ・ピタゴラス・ブラジル浜松校（静岡県）、コレージョ・ドン・ボスコ（愛知県）、コレージョ・ピタゴラス・ブラジル愛知校（愛知県）を修了した者は大学入試センター事業第 1 課（➡裏表紙）まで照会してください。

（注 2）早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校、スイス公文学園、立教英国学院、帝京ロンドン学園、慶應義塾ニューヨーク学院、上海日本人学校及び如水館バンコクの各高等部がこれに該当します（平成 26 年 7 月 9 日現在）。
下記の教育施設は、在外教育施設としての認定を取り消された又は指定を解除されているが、取り消された又は解除された日以前に修了した者は、文部科学大臣が指定した者に該当します。

教 育 施 設 の 名 称	認定を取り消された又は指定を解除された日
ブレーメン国際日本学園	平成 11 年 12 月 17 日
英国四天王寺学園	平成 13 年 3 月 31 日
英国暁星国際学園	平成 14 年 8 月 14 日
駿台アイルランド国際学校	平成 15 年 3 月 31 日
アルザス成城学園	平成 17 年 3 月 31 日
テネシー明治学院	平成 19 年 3 月 31 日
東海大学付属デンマーク校	平成 20 年 3 月 31 日
ドイツ桐蔭学園	平成 24 年 3 月 31 日
フランス甲南学園トゥレーヌ高等部（旧トゥレーヌ甲南学園）	平成 25 年 3 月 31 日
サウスクイーンズランドアカデミー	平成 25 年 3 月 31 日

（注 3）専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

（注 4）国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

（注 5）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

（注 6）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

（注 7）グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

（注 8）文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

＊ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は、今後追加されることがあります。

＊ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体に認定されているかどうかは、在学（卒業）している教育施設に確認してください。

（注 9）その他、旧制の諸学校の出身者や、小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和 23 年文部省告示第 47 号で指定された者です。

（注 10）高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定について不明な点があれば、文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係（03 - 5253 - 4111（代表））に問い合わせてください。

（注 11）高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの試験科目に相当する科目について、在学している高等学校、高等専門学校、海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定した在外教育施設又は文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で、令和 2 年 3 月 31 日までに修得する見込みの者がこれに該当します。

（注 12-1）大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

（注 12-2）個別の入学資格審査による認定を受けたことを証明する書類は、大学入試センター試験出願時に必要なので、必ず大学入試センター試験の出願までに、志望大学に個別の入学資格審査の申請をして交付を受けておいてください。個別の入学資格審査の申請方法は、各大学が定めているので、志望大学に問い合わせてください。

（注 12-3）個別の入学資格審査による認定の効力は、当該入学資格審査を行う大学（学部・学科等ごとに個別の入学資格審査が実施される場合には、当該学部・学科等）にのみ及びます。

2 出願期間と出願方法等

(1) 出願期間

令和元年9月30日（月）～10月10日（木）

（10月10日消印有効。10月11日以降に到着したもののうち消印がないものについては、10月10日までに郵便局の窓口差し出されたことが確認できるものに限り受理します。）

(2) 出願方法

① 出願書類の提出方法は下表のとおりです。

区 分	出 願 書 類	提 出 方 法
高等学校*又は中等教育学校を <u>卒業見込みの者</u> * 特別支援学校の高等部を含む。 * 高等学校卒業程度認定試験合格（合格見込みを含む。）などの資格で出願する場合は、下の「上記以外の者」により直接出願すること。	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（→p.24） 志願票に貼り付ける。「受付局日附印」が押印されていること。	学校経由出願 左記の出願書類を在学している学校に提出すること。 通信制課程の場合も在学している高等学校に提出すること。
上記以外の者 * 上記学校の卒業者や他の出願資格の者	ア 志願票 記入後にコピーを取り、原本を提出し、コピーは保管しておくこと。 イ 検定料受付証明書（→p.24） 志願票に貼り付ける。「受付局日附印」が押印されていること。 ウ 出願資格を証明する書類（→p.6） 封筒から出して、書類のみを志願票と一緒に提出すること。「開封無効」等の表示がある場合でも大学入試センター試験の出願に当たっては、封筒から出すこと。	個人直接出願 左記の出願書類を、この受験案内に添付してある封筒を使用して、必ず「簡易書留郵便」で郵送すること。 「簡易書留郵便物受領証」は大切に保管しておくこと。

② 書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。

③ 受理した出願書類は返却しません。

④ 出願方法について疑問がある場合は、出願期間の前に、できるだけ早く大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に問い合わせてください。

(3) 出願の確認

大学入試センターは出願書類を受理したのち、10月28日（月）までに届くように**確認はがき**（出願受理通知）を送付します（→p.26）。この確認はがきは、出願の受理及び受験教科等の登録内容を通知するものですので、記載内容に誤りがないかを必ず確認してください。

(4) その他

志願者本人の責めに帰すことができない理由により、出願期間内に出願できなかった場合（出願書類を在学する学校に提出又は郵便局の窓口に出したが、大学入試センターに到着しなかった場合）は、速やかに大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）まで申し出てください。

3 受験教科の事前登録

(1) 受験教科及び科目数等の登録

大学入試センター試験の受験教科等については、あらかじめ、以下の事項を出願時に申し出て、登録する必要があります。

- ① 受験教科
- ② 地理歴史、公民の受験科目数
- ③ 理科の科目選択方法
- ④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付希望

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、下記(2)に示す注意事項をよく理解した上で、正しく登録してください。

登録した内容については、10月28日（月）までに受け取る**確認はがき**により確認してください。万一、志願票への記入誤り等により、登録内容の訂正が必要となった場合は、大学入試センターに訂正を届け出てください（→p.26）。

(2) 受験教科及び科目数等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は、出願に当たって特に注意が必要な事項です。詳細については、「**6 志願票の記入方法**」（→p.18）をよく読んで、志願票に記入してください。

① 受験教科

ア 大学入試センター試験の出題教科は、**国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語**の6教科です。試験当日は、登録した受験教科以外を受験できません。万一、登録していない教科を受験しても採点されません。

イ **地理歴史**及び**公民**については、同一の試験時間に実施しますので、出願時には、この2教科を「地理歴史、公民」の1教科として登録します。

ウ **数学**については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施します。数学を受験教科として登録した場合は、「数学①」のみの受験又は「数学②」のみの受験も可能です。

エ **理科**については、試験時間を「理科①」と「理科②」のグループに分けて実施します。

② 地理歴史、公民の受験科目数

地理歴史、公民を受験する場合は、受験する科目数（1科目又は2科目）を登録します。

受験科目は、登録した受験科目数に従って、試験当日に**地理歴史と公民を合わせた10科目**の中から選択し、解答することができます。

※ 登録した科目数を試験当日に変更することはできません。

③ 理科の科目選択方法

理科を受験する場合は、A～Dの科目選択方法のうちから1つ選んで登録します。

グループ	出題科目	科目選択方法
理科①	「物理基礎」「化学基礎」	A：理科①から2科目を選択
	「生物基礎」「地学基礎」	B：理科②から1科目を選択
理科②	「物理」「化学」	C：理科①から2科目及び理科②から1科目を選択
	「生物」「地学」	D：理科②から2科目を選択

受験科目は、登録したA～Dの科目選択方法に従って、試験当日に選択し、解答することができます。

※ 登録した科目選択方法を試験当日に変更することはできません。

※ 「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答します。なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

出B

願

④ 「数学②」及び「外国語」の別冊子試験問題の配付を希望する場合

「数学②」の「簿記・会計」「情報関係基礎」及び「外国語」の「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」を受験する場合は、出願時に、**別冊子試験問題の配付希望**を申し出る必要があります。

なお、別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、「数学②」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や「外国語」「英語（筆記）」の問題冊子も併せて配付されますので、これらの科目を選択解答することもできます。

4 障害等のある方への受験上の配慮

- (1) 大学入試センター試験の受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、下表のような配慮を希望する者は令和元年10月10日（木）までに申請してください。大学入試センターは、志願者からの申請を審査の上、受験上の配慮事項を決定します。決定に当たっては個々の症状や状態等を総合的に判断します。

この申請がなければ、各試験場では受験上の配慮を行いません。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の配慮の申請が必要となりますので、申請し忘れないよう、十分に注意してください。

なお、「座布団」「ひざ掛け」「タオル（サイズは問わない）」「ティッシュペーパー」「ハンカチ」「目薬」については、受験上の配慮の申請は不要です。

受験上の配慮の対象となる者や配慮の具体的な内容、申請方法等は「**受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕**」に掲載しています。入手方法については、次ページを参照してください。

受験上の配慮の内容等について不明な点がある場合には、できるだけ早く大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に相談してください。

出B
願

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 （例）
① 視覚障害	- 点字による教育を受けている者 - 良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 - 両眼による視野について強度視野障害のある者 - 上記以外の視覚障害者	- 点字解答・文字解答 - 拡大文字問題冊子（14ポイント・22ポイント）の配付 - 拡大鏡等の持参使用 - 窓側の明るい座席を指定 - 照明器具の持参使用又は試験場側での準備
② 聴覚障害	- 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 - 上記以外の聴覚障害者	- 手話通訳士等の配置 - 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用 - リスニングの免除
③ 肢体不自由	- 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障害が著しい者 - 上記以外の肢体不自由者	- チェック解答・代筆解答 - 介助者の配置 - 試験室を1階に設定 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖の持参使用 - 試験場への乗用車での入構
④ 病弱	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	- 試験室を1階に設定 - 杖の持参使用 - 別室の設定
⑤ 発達障害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長（1.3倍） - チェック解答 - 拡大文字問題冊子（14ポイント・22ポイント）の配付 - 注意事項等の文書による伝達
⑥ その他	①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者	- トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定

(2) 出願前申請

希望する配慮によっては審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については**出願前の申請を受け付けます**。できるだけ早めに、申請してください。

出願前申請受付期間：8月1日（木）～9月27日（金）まで（9月27日消印有効）

出願前に審査結果の通知を希望する場合は、9月5日（木）（消印有効）までに申請してください。この場合、配慮の可否は、9月下旬までに「受験上の配慮事項審査結果通知書」により通知します。

なお、この出願前申請を行っただけでは出願をしたことにはなりません。出願する場合には、この手続のほかに、必ず出願期間内（9月30日～10月10日）に志願票等の出願書類を提出してください（→p.11）。詳しいことは「受験上の配慮案内」で確認してください。

(3) 「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の入手方法

受験上の配慮を希望する志願者は、できるだけ早い時期に「受験上の配慮案内」を次の①又は②の方法により入手してください（大学等では配付していません。）。申請に必要な申請書等の様式は、「受験上の配慮案内」にとじ込んであります。

① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）からダウンロードできます。申請書や診断書等の様式をダウンロードしてそのまま使用することができます。

② 次のア・イを封筒（表面に「受験上の配慮案内請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に郵便で請求してください。

ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等

イ 返信用封筒（角形2号：縦33.2cm・横24cm、表面に現住所・氏名を記入し、250円分（→注）の切手を貼る。）

（注） 上記の金額は令和元年5月31日現在のものです。郵便料金に変更になった場合は、変更後の郵便料金によってください（「受験上の配慮案内」1冊の重さは約220グラム。）。

(4) 志望大学との事前相談

障害等の種類・程度によっては、志望大学の個別学力検査や修学上（入学後の大学生活等）の配慮が必要となることがありますので、別途、**志望大学**が定めている期日までに相談してください。

(5) 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

出願時に申請する受験上の配慮のほか、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のための受験上の配慮があります（→p.38）。

この配慮は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

5 成績通知

大学入試センターは、出願時の希望に基づき、成績通知書を志願者本人の住所に送付します。

(1) 成績通知の内容

「受験した科目名」「試験区分（本・追再試験の別）」「得点（科目別得点）」を成績通知書により通知します。

なお、「国語」については出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点を、「英語」については、「筆記」「リスニング」別の得点を表示します。

「地理歴史、公民」及び「理科」については、次のとおりです。

ア 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において2科目を受験した場合は、解答順に「第1解答科目」、「第2解答科目」別の得点を表示します。

イ 「理科①」を受験した場合は、選択した科目別の得点及びその合計点を表示します。

(2) 成績通知の時期

出願時に成績通知を希望した志願者には、令和2年4月16日（木）以降に成績通知書を書留郵便で送付します。成績通知書が4月24日（金）までに届かない場合は、必ず志願者本人が大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に電話で問い合わせてください。

なお、成績通知書は再発行できませんので、大切に保管しておいてください。

＊ 書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間保管されます。郵便局が受取方法等を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、直接、郵便局に問い合わせて受け取ってください。

なお、郵便局での保管期間（おおむね1週間）を過ぎると大学入試センターに返送されてしまいますので注意してください。

(3) 成績通知の申込方法

成績通知を希望する志願者は、出願時に成績通知手数料（800円）を検定料と併せて払い込み（➡p.24）、志願票の「⑱成績通知」欄の「希望する」を○で囲んでください（➡p.20）。

なお、出願後に成績通知の希望の有無を変更することはできません。

(4) 大学入試センター試験終了後の「現住所の変更」

大学入試センター試験終了後に成績通知書を送付する現住所を変更する場合は、令和2年3月19日（木）まで（必着）に「住所等変更・訂正届」（➡p.36）を記入した上で、封筒（表面に「住所等変更・訂正届」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に郵送してください。

6 志願票の記入方法

記入上の注意

- ① 志願票は、必ず志願者本人が黒のボールペンで丁寧に記入してください（病気・負傷や障害等のために記入が困難な場合は、保護者等が記入してください。）。
- ② 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に、修正内容が明確に分かるように訂正してください。その際、文字がマスからはみ出ても構いません。訂正印は不要です。
- ③ 記入の済んだ志願票は第Ⅰ面・第Ⅱ面ともにコピーを取り、出願の際には原本を提出してください（志願票のコピーは、大切に保管しておいてください。）。

(1) 志願票（第Ⅰ面）各欄への記入

○ 令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票

出願期間：令和元年9月30日（月）～10月10日（木）（10月10日消印有効）

第Ⅰ面

※折らずに封筒に入れてください。

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)	出身学校名	② 障害等のある方への 受験上の配慮 (別途申請が必要)	学校記入欄
2		希望する	③ 整理番号 学校単位に1連番 号を右に結めて記 入してください。
1 2 3 4 5 6 7		8	9 10 11 12

出願資格 (p.19の「出願資格」 欄の記入方法を参照 してください。)	13	④ 課 程					
		1 全 日 制	2 定 時 制	3 通 信 制			
	14	⑤ 学 科					
		1 普 通 科	2 理 数 科	3 農 業 科	4 工 業 科	5 商 業 科	6 総合学科
	15	⑥ 卒業見込者・卒業者の別					
		1 卒業見込者	2 卒 業 者	⑦ 卒業した年			
				S昭和 H平成 R令和			
	22	⑧ そ の 他 の 出 願 資 格					
		1 外国の学校等	2 在外教育施設	3 専修学校高等課程	4 文部科学大臣 の指定した者	5 高卒認定試験 大学入学者資格検定	6 そ の 他 高専3年修了

⑨ カタカナ記入（姓と名の間を1マスあけ、濁点及び半濁点は1マスを使用してください。）	
氏 名	
⑩ 漢字等記入（かい書で丁寧に記入してください。姓と名の間を1マスあけてください。）	

⑪ 性別	1 男	2 女	
⑫ 生 年 月 日	年	月	日
	S昭和 H平成		
	62 63 64 65 66 67 68		

⑬ 電話番号（自宅・下宿：寮）	
⑭ 携帯電話（本人）	

現 住 所 (志願者全員が、必ず記入し てください。)	⑮ 郵便番号	
★現住所の登録は⑮郵便番 号、⑯カタカナ・数字等 記入欄で行います。 ★1マスに1字ずつ記入し、濁 点及び半濁点は1マスを使 用してください。 ★1行に入らない場合は、区切 りのよいところで改行して ください。 ★知人宅等に下宿をしている 場合は、「〇〇様方」まで 必ず記入してください。	⑯ カタカナ・数字等 記入	
	都 道 府 県	
	市 区 郡	
	町 村	
	番 地	
	アパート・ マンション名	
	号 室	
	様 方	
	漢 字 等 記 入	

第Ⅱ面（裏面）も必ず記入してください。第Ⅰ面の記入だけでは、志願票の記入を終えたことになりません。

高等学校等コード・出身学校名

55ページ以降の「高等学校等コード表」を確認し、出身学校のコードを記入してください。

- * 通信制の学校については、その学校の本部のある都道府県の欄に記載されています。
- * 出身学校が他校と統合された場合や学校名が変更となった場合は、変更後のコードを記入してください。
- * 出身学校が廃校となった場合は、その学校の所在していた都道府県の「上記以外の高等学校等」のコードを記入してください。
- * 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定の「出身学校名」は、「高卒認定」と記入してください。

【希望者のみ】障害等のある方への受験上の配慮

受験上の配慮を申請する場合のみ、「希望する」を○で囲んでください。受験上の配慮の出願前申請（→p.16）を行った場合も○で囲んでください。

- * 出願期間（9月30日～10月10日）に受験上の配慮を申請する場合は、申請書や診断書等の必要書類を必ず志願票に添付して出願してください（出願前申請を行った場合は、受験上の配慮出願前申請済届（→「受験上の配慮案内」p.39）を添付してください。）。

出願資格

○ 高等学校又は中等教育学校卒業見込・卒業者の記入欄

「④課程」「⑤学科」「⑥卒業見込者・卒業者の別」…それぞれ該当するものを○で囲んでください。

「⑦卒業した年」……………卒業者のみ記入してください。

○ 上記以外の出願資格者の記入欄

「⑧その他の出願資格」……………該当する資格を○で囲んでください。

氏名・性別・生年月日

「⑨カタカナ氏名」……姓と名の間を1マスあけ、濁点等は1マスを使用して記入してください。

- * 氏名に小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。【「ショウ」→「シヨウ」など】
- * 氏名が記入欄に入りきらない場合は、入るところまで記入してください。

「⑩漢字等氏名」……できるだけ常用漢字で記入してください（JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字を含む場合、その文字が置き換えられるか、全てカタカナで表示されます。）。

- * 氏名が記入欄に入りきらない場合は、入るところまで記入してください。

「⑪性別」……………男・女のどちらかを○で囲んでください。

「⑫生年月日」……該当する年号を○で囲み、年月日を記入してください。年月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を記入してください。

【置き換えられる文字の例】

邊	→	邊	朗	→	朗	祐	→	祐
濱	→	濱	角	→	角	桑	→	桑
廣	→	廣	臺	→	臺	遙	→	遙
高	→	高	崎	→	崎	ヲ	→	オ

電話番号

自宅等の固定電話及び志願者本人の携帯電話の電話番号を、ハイフンを入れて左詰めで記入してください（どちらか1つしかない場合は、片方のみの記入でも構いません。）。

現住所

現在、居住している住所を記入してください（住民票に記載された住所である必要はありません。）。学校や予備校の住所、私書箱、郵便局留は使用できません。マンション等に居住している場合は、建物名、部屋番号まで記入してください。

- * 現住所のカタカナに小文字が含まれる場合は、大文字に置き換えて記入してください。
- * 出願資格が「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和2年3月に卒業見込みの者」（高等学校の通信制課程の卒業見込みの者を除く。）以外に該当する者は、志願票に記入されている現住所により試験場を指定します。なお、出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません（→p.32）。

(2) 志願票（第Ⅱ面）各欄への記入

出 B
願

令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 第Ⅱ面

⑰受験教科（p.21の「受験教科」欄の記入方法を参照してください。）
受験する・しないにかかわらず、必ず該当する選択肢を1つ選び、その記号を正しく記入してください。

教科名	選択記入欄		
国語	A…受験する X…受験しない	☐	200
地理歴史 公民	A…1科目受験する B…2科目受験する X…受験しない	☐	201
数学	A…受験する X…受験しない	☐	202
理科	A…理科①を受験する B…理科②を1科目受験する C…理科①を受験、理科②を1科目受験する D…理科②を2科目受験する X…受験しない	☐	203
外国語	A…受験する X…受験しない	☐	204

※選択記入欄に正しく記入されていない場合（未記入、複数の記号を記入、選択肢にない文字を記入等）は、その教科は「受験しない」教科として登録します。

★受験教科数の計算について
・選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。
・例えば、選択記入欄に上から順番に「A、B、X、D、A」と記入した場合、受験教科数は、「X以外のアルファベットが4つ」で、合計4教科となります。

【希望者のみ】⑱別冊子試験問題配付希望
次の科目の受験を希望する者のみ記入してください。

数学②のうち次の科目
「簿記・会計」
「情報関係基礎」
希望する
205

外国語のうち次の科目
「ドイツ語」
「フランス語」
「中国語」
「韓国語」
希望する
206

⑲成績通知
【成績通知】の希望の有無に
○をしてください。

成績通知
希望する
2希望しない
207

払込金額

成績通知
希望する
希望しない

受験教科数	3教科以上	18,800円	18,000円
2教科以下	12,800円	12,000円	

【該当者のみ】
「イヤホン不適合措置申請書」貼り付け欄

★リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」に必要事項を記入し、この欄にはがれないようしっかり貼り付けてください。（受験案内43ページ参照）

検定料払込書のうちEと表示された「検定料受付証明書」を、右の太枠の中にはがれないようしっかり貼り付けてください。

★必ず金融機関の受付窓口で払い込んでください。

★E「検定料受付証明書」に受付局日附印が押されていることを確認してください。

E検定料受付証明書貼り付け欄

記入の済んだ志願票は両面ともコピーを取り、コピーは大切に保管してください。

20

受験教科 (→p.3, p.13)

受験教科等の登録に当たっては、あらかじめ志望大学の募集要項等を確認した上で、全ての教科について、それぞれ該当するアルファベットか「X」を選択し選択記入欄に記入してください。

なお、選択記入欄に記入した「X」以外のアルファベットの数を足した合計が、検定料の払込金額を決める上での受験教科数となります。この欄の記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、志願票どおりに登録できないことがあります (→p. 25)。

教科	記入方法
国 語	・受験する → 「A」と記入 ・受験しない → 「X」と記入 ※ 数学を「受験する」(「A」)として登録した場合は、「数学①」と「数学②」の両方が登録されますが、「数学①」のみ又は「数学②」のみの受験も可能です。
数 学	
外 国 語	
地理歴史 公 民	・1科目受験する → 「A」と記入 ・2科目受験する → 「B」と記入 ・受験しない → 「X」と記入
理 科	・理科①を受験する → 「A」と記入 ・理科②を1科目受験する → 「B」と記入 ・理科①を受験、理科②を1科目受験する → 「C」と記入 ・理科②を2科目受験する → 「D」と記入 ・受験しない → 「X」と記入

記入欄に正しく記入されていない場合(無記入又は選択肢にない文字を記入等)は、その教科を「受験しない」教科として登録します。

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付 (→p.14)

数学及び外国語で、次の科目の受験を希望する場合は、「希望する」を○で囲んでください。

教科(グループ)	配付希望の登録が必要な科目
数 学 ②	「簿記・会計」「情報関係基礎」
外 国 語	「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

なお、別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、数学②の「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」や、外国語の「英語(筆記)」の問題冊子も併せて配付されますので、これらの科目を選択解答することもできます。

成績通知 (→p.17)

成績通知を希望する場合は「1 希望する」を、希望しない場合は「2 希望しない」を○で囲んでください。

なお、この欄が無記入又は記入内容と検定料受付証明書の払込金額に相違がある場合は、検定料受付証明書の払込金額に従って、成績通知希望の有無を登録します。

【該当者のみ】イヤホン不適合措置申請書 (→p.43)

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」をはがれないようにしっかり貼り付けてください。

検定料受付証明書 (→p.24)

検定料を払い込み、日附印の押されたE「検定料受付証明書」を貼り付けてください。

検定料の払込金額は、次のとおり「受験教科数」と「成績通知の希望の有無」により異なりますので、正しい金額を払い込んでください。

	成績通知を希望する	成績通知を希望しない
3教科以上受験	18,800円	18,000円
2教科以下受験	12,800円	12,000円

受験教科等の登録 <Q & A>

Q1 出願時に「地理歴史、公民」を「受験しない」として登録しましたが、「1科目受験する」に訂正することはできますか？

A 11月5日（火）まで（消印有効）に届け出れば、受験教科等の登録内容を訂正することができます。

大学入試センターは、出願後、受験教科等の登録内容が記載された「確認はがき」を10月28日（月）までに届くように送付しますので、登録された受験教科等を訂正する必要がある場合は、11月5日（火）まで（消印有効）に、大学入試センターに「登録教科等訂正届」を郵送してください（→p.26）。

なお、この訂正期限を過ぎた場合、登録教科の訂正は一切できませんので注意してください。

* 氏名、連絡先等を訂正する場合は、26ページに従って届け出てください。

Q2 試験当日に、受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A できません。

万一、試験当日に登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を、試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。

受験を取りやめた場合、その試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0点として採点されることはありません。

Q4 数学を「受験する」として登録されている場合、「数学①」と「数学②」のどちらか片方だけ受験することもできますか？

A できます。

受験しない試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0点として採点されることはありません。

Q5 「地理歴史、公民」を「2科目受験する」として登録しましたが、試験当日に1科目のみを受験することはできますか？

A できません。

「地理歴史、公民」を「2科目受験する」と登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみを受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2科目受験する」と登録した場合、必ず2科目分を採点（前半の60分を第1解答科目、後半の60分を第2解答科目として採点）します。

同様に、「1科目受験する」と登録した場合、試験当日に2科目を受験することもできません（「理科②」も同様です。）。

なお、「地理歴史、公民」の受験科目は、登録した受験科目数に従って、試験当日に地理歴史と公民を合わせた10科目の中から選択し、解答することができます（→p.13）。

Q6 「理科①」は2科目解答することになっていますが、1科目だけを解答することはできますか？

A できません。

「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答してください。
なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

Q7 「理科①」と「理科②」を受験する場合、同一名称を含む科目を組み合わせで選択することはできますか？

A できます。

大学入試センター試験では「理科①」と「理科②」において、同一名称を含む科目の組合せ（例えば、「物理基礎」と「物理」など）で選択解答することができます。ただし、大学によっては、認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、「理科①」と「理科②」の科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

なお、「地理歴史、公民」においては、同一名称を含む組合せで2科目を選択することはできません（→p.3）。

Q8 理科の科目選択方法（A～D）を試験当日に変更することはできますか？

A できません。

また、科目選択方法で「理科②」を2科目受験すると登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて1つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみ受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。

なお、「理科①」と「理科②」の受験科目は、登録したA～Dの科目選択方法に従って、試験当日に選択し、解答することができます（→p.13）。

Q9 高等学校では履修していない科目を選択し、解答することはできますか？

A できます。

大学入試センター試験では、高等学校での履修の有無により受験科目を制限することはありません。ただし、大学によっては、認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、大学入試センター試験の科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

7 検定料及び成績通知手数料の払込方法

(1) 検定料等の払込金額

払込金額は、受験教科数、成績通知（手数料 800 円）の希望の有無により、下表の 4 種類があります。

試験当日に受験する教科と成績通知の希望の有無をあらかじめ決めた上で、正しい金額を払い込んでください。

区 分	成績通知を希望する場合	成績通知を希望しない場合
3 教科以上を受験する場合	18,800 円	18,000 円
2 教科以下を受験する場合	12,800 円	12,000 円

なお、受験教科数を数える際に、地理歴史と公民については、この 2 教科を合わせて 1 教科として数えますので注意してください。

例えば、国語、地理歴史、公民の 3 教科を受験する場合でも、出願時においては、地理歴史と公民を合わせて 1 教科として数えますので、払い込む検定料等は、「2 教科以下を受験する場合」の「12,800 円」又は「12,000 円」のいずれかとなります。

(2) 払込期間

令和元年 9 月 2 日（月）～10 月 10 日（木）（出願期間は 9 月 30 日～10 月 10 日）

(3) 払込場所

「ゆうちょ銀行・郵便局の受付窓口」又は「払込書裏面記載の銀行の受付窓口」

必ず受付窓口で払い込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

＊ 「払込書」の裏面には「ATM でもご利用いただけます」と記載されていますが、大学入試センター試験では、ATM で払い込んだものは使用できません。

(4) ゆうちょ銀行・郵便局及び「払込書」裏面記載の銀行の本・支店間を利用した場合の振込手数料は、大学入試センターが負担します。それ以外の金融機関（信用金庫・農協など）を利用した場合の振込手数料は、志願者本人の負担となります。

(5) 払込方法（下記の払込書イメージ図を参照）

① この受験案内に添付されている 4 種類の払込書の中から、受験教科数や成績通知の希望の有無に応じた金額の払込書を選び、その払込書を使用してください（使用しなかった「払込書」は、登録教科の訂正の際に使用することがありますので、大切に保管しておいてください。）。

② 「払込書」は 5 つの部分からなっており、それぞれの「志願者」欄には、**A～E** の記号が印刷されています。**A～E** の※印の欄に志願者本人の住所、氏名等を記入してください。

〔払込書イメージ図〕

志願票に貼り付けるのはこの部分です。

※ A	※ B	※ C	※ D	※ E
------------	------------	------------	------------	------------

- ③ 銀行（ゆうちょ銀行を除く。）で払い込む場合は、振込先欄に銀行名、支店名、口座番号も記入してください。
- ④ 払込後は、日附印の押された **E**「検定料受付証明書」を志願票に貼り付けてください。
D「振替払込請求書兼受領証」は本人の控えとして大切に保管しておいてください。

(6) 出願に際しての注意事項

- ① 志願票（第Ⅱ面）の貼り付け欄に検定料等の払込済の **E**「検定料受付証明書」を貼り付けた後に、志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい志願票に記入し直す場合でも、検定料等は二重に払い込まないでください。その場合は、払込済の **E**「検定料受付証明書」を志願票ごと切り取って、新しい志願票に貼り付けてください。
- ② 払込済の **E**「検定料受付証明書」が志願票に貼り付けられていない場合は、出願を受理しません。
- ③ **E**「検定料受付証明書」を紛失した場合は、代わりに **D**「振替払込請求書兼受領証」を志願票に貼り付けてください。
- ④ 成績通知について、志願票に貼り付けられた **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票の記入に相違があった場合は、**E**「検定料受付証明書」の払込金額に従って、出願を受理します。
- ⑤ 志願票に貼り付けられた **E**「検定料受付証明書」の払込金額と志願票に記入された受験教科数に相違があった場合は、志願票どおりに登録できない場合がありますので、必ず払込金額と志願票に記入した登録教科数と一致していることを確認してください。相違があった場合は、確認はがきに表示されますので、所定の訂正手続きをしてください（→p.26）。

(7) 検定料等の返還請求

- ① 検定料等の返還請求ができるのは、次のア又はイの場合です。出願が受理されている場合、大学入試センター試験を受験しなくても払込済の検定料等は返還しません。

ア 検定料等を払い込んだが大学入試センターに出願しなかった（出願書類等を大学入試センターに提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合

イ 検定料等を二重に払い込んだ場合

（「登録教科等訂正届」の提出に伴い検定料等を再度払い込んだ場合を含む（→p.26）。）

② 返還請求の方法

大学入試センターのホームページ（→裏表紙）から「検定料等返還請求書」をダウンロードして必要事項を記入し、**E**「検定料受付証明書」（既に **E**「検定料受付証明書」を大学入試センターに提出している場合は **D**「振替払込請求書兼受領証」）を貼り付けて大学入試センター財務課（〒153-8501 東京都目黒区駒場 2-19-23）へ郵送してください。返還時期は、令和2年2月中旬以降を予定しています。



1 確認はがき(出願受理通知)～登録内容の確認

確認はがきは、出願が受理されたことを通知するとともに、登録された志願票の記入事項のうち、特に重要な事項を表示したものです。

(1) 確認はがきの送付

大学入試センターは出願書類を受理したのち、確認はがきを10月28日(月)までに届くように送付します(高等学校等(通信制課程を除く)を卒業見込みの者は在学している学校に送付します。)

確認はがきが10月28日(月)までに届かない場合は、志願者本人が必ず大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で問い合わせてください。

(2) 登録内容の確認

確認はがきの受領後は、保管してある志願票のコピーと照らし合わせて、出願時の登録内容と確認はがきの表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

(3) 登録内容の訂正方法

確認はがきの表示に誤りがある場合、受験教科等をやむを得ず訂正する場合及び検定料と登録教科数に相違がある場合(→p.28)は、次の①と②の手順に従って、訂正内容を大学入試センターに届け出てください。

なお、作成した「住所等変更・訂正届」及び「登録教科等訂正届」はコピーを取り、大切に保管しておいてください。

① 必要書類の作成

ア 氏名、生年月日、連絡先を訂正する場合

「住所等変更・訂正届」(→p.36)に訂正内容を記入し、確認はがきのコピーを貼り付けてください。

イ 登録教科等及び別冊子試験問題の希望を訂正する場合

訂正が必要な項目について、27ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで、「登録教科等訂正届」(→p.29)に訂正のある箇所のみ記入し、確認はがきのコピー等必要書類を貼り付けてください。

＊ 受験教科の訂正に伴い受験教科数が「2教科以下から3教科以上」又は「3教科以上から2教科以下」に変更となる場合は、正しい金額の払込書を使用し、再度検定料等を払い込み、「登録教科等訂正届」の所定欄に **E**「検定料受付証明書」を貼り付けてください(→p.29)。

なお、既に払い込んだ検定料等は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(→p.25)を同封してください。

ウ 検定料と登録教科数に相違がある場合(払込金額が誤っている場合)

27ページの(4)の表中「訂正に当たっての注意点」をよく読んで、正しい金額の払込書を使用し、再度検定料等を払い込み、「登録教科等訂正届」の所定欄に **E**「検定料受付証明書」と確認はがきのコピーを貼り付けてください。

② 「住所等変更・訂正届」、「登録教科等訂正届」の提出

ア 次表の送付方法に従って、11月5日(火)まで(消印有効)に、大学入試センターに郵送してください。

区 分	送 付 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄②の者を除く)	必要書類を在学している学校に提出すること(学校単位で取りまとめて大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送)。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者 ② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	必要書類を封筒に入れて、大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に簡易書留郵便で郵送すること(封筒の表面に「登録教科等訂正」と朱書すること)。

イ 大学入試センターは、届出内容に従って登録内容を訂正しますので、誤った記入をしないよう注意してください。訂正された内容は、12月16日(月)までに到着する受験票(➡p.30)で再度確認してください(確認はがきの再送付は行いません。)

ウ 必要書類の不足等がある場合や、11月6日(水)以降の消印の場合は、訂正は一切受け付けません。

志願者本人の責めに帰すことができない理由により、訂正期限までに届出ができなかった場合(訂正届を期限前に在学する学校に提出又は郵便局の窓口に出したが、大学入試センターに到着しなかった場合)は、速やかに大学入試センター事業第1課(➡裏表紙)まで申し出てください。

(4) 確認はがきの主な表示項目と訂正に当たっての注意点

【確認はがきの表示例】

① フリガナ、氏名、

生年月日、性別

② 連絡先等

③ 成績通知

④ 受験上の配慮

⑤ イヤホン不適合措置

⑥ 登録教科

⑦ 別冊子試験問題

高等学校等 コード	13440G 西多摩		
フリガナ 氏名	コバヤシ 知子 駒場 太郎		
生年月日	平成13年10月02日	性別	男
連絡先等	042-395-999× 〒193-0013 東京都駒場市大学町 5-19-23 ビルディング 101 101803		
成績通知	あり	受験上の配慮	希望しない
イヤホン不適合措置	なし		
登録教科	国語	X	受験しない
	地理歴史、公民	X	受験しない
	数学	A	受験する
	理科	D	理科②を2科目受験する
	外国語	X	受験しない
登録教科数より多く検定料を払い込んでいます			
別冊子試験問題	数学②	なし	外国語 なし

「地理歴史、公民」「理科②」 受験科目数の訂正について

試験当日に、登録した受験科目数を変更することはできません。例えば、「2科目受験する」として登録した場合、試験当日に1科目のみを受験することはできません。

受験科目数の訂正を希望する場合は、訂正期限までに「登録教科等訂正届」を大学入試センターに郵送してください。

出
C
願
後

表示項目	表示内容についての説明	訂正に当たっての注意点
① フリガナ 氏名 生年月日 性別	氏名にコンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられる(➡p.19)か、全てカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	【必要書類】「住所等変更・訂正届」(➡p.36) 性別が誤っている場合は、試験場の指定に影響がありますので、速やかに大学入試センター事業第1課(➡裏表紙)に電話で連絡してください。
② 連絡先等	住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。	出願後に現住所等を変更した場合も、「住所等変更・訂正届」を提出してください。
③ 成績通知	成績通知手数料(800円)を払い込んだ場合は、「あり」と表示されます。	出願時に申し出た内容を変更することはできません。 万一、確認はがきの表示内容が誤っている場合は、大学入試センター事業第1課(➡裏表紙)に電話で連絡してください。
④ 受験上の配慮	受験上の配慮を申請した場合は、「希望する」と表示されます。	
⑤ イヤホン不適合措置	リスニングのイヤホン不適合措置を申請した場合は、「あり」と表示されます。	
⑥ 登録教科	各教科について「受験する」又は「受験しない」と表示されます。 地理歴史、公民を受験する場合は、「1科目受験する」又は「2科目受験する」と表示されます。 理科を受験する場合は、科目選択方法が表示されます。 検定料と登録教科数に相違がある場合は別表のような表示があります(➡p.28)。	【必要書類】「登録教科等訂正届」(➡p.29) ・訂正する教科のみ該当する選択肢を1つ選び、記入してください。別冊子試験問題の配付の希望を訂正する場合は、希望の有無に○をつけてください。 ・訂正の必要がない箇所は、記入しないでください。記入がない箇所については、確認はがきに記載されている登録内容で受験票を発行します。 ・全ての教科を「受験しない」とする訂正はできません。 ・検定料等を再度払い込んだ場合、 E「検定料受付証明書」 が貼り付けられていないと、訂正は受け付けません。なお、既に払い込んだ検定料等は返還請求することができますので、「検定料等返還請求書」(➡p.25)を同封してください。
⑦ 別冊子試験問題	「数学②」「外国語」で別冊子試験問題の配付を希望した場合は、「あり」と表示されます。	

(5) 検定料と登録教科数に相違がある場合の表示内容と登録教科等訂正届の提出がなかった場合の取扱い

確認はがきの登録教科欄に次表のア又はイの表示がある場合は、検定料と登録教科数に相違がありますので、26 ページの(3)登録内容の訂正方法に従って必ず訂正してください。訂正を行わない場合、受験を希望する教科・科目を受験できない場合があります。

検定料と登録教科数の相違の内容	訂正がない場合の登録方法
ア 検定料が不足しています ⇒ 2 教科以下の検定料を払い込み登録教科数が 3 教科以上の場合に表示されます。	志願票の受験教科欄に「受験する」と記入した教科のうち、上から 2 教科で登録します。
イ 登録教科数より多く検定料を払い込んでいます ⇒ 3 教科以上の検定料を払い込み登録教科数が 2 教科以下の場合に表示されます。	志願票に記入されたとおり登録します。

生年月日	年	月	日
☐ 昭和 ☐ 平成	⋮	⋮	⋮

【希望者のみ】別冊子試験問題の配付		
数学②	希望する	希望しない
外国語	希望する	希望しない

●記入に当たっては、「受験案内」の27ページをよく読んでください。必要書類や記載内容に不備がある場合、訂正は一切受け付けません。

2 受験票・写真票・成績請求票

(1) 受験票等の送付

大学入試センターは、出願を受理した志願者に対して、(2)の見本のような「受験票」、「写真票」、「成績請求票」を「受験上の注意」とともに、12月16日(月)までに届くように、下表のとおり送付します。

受験票等が12月16日(月)までに届かない場合は、必ず大学入試センター事業第1課(➡裏表紙)に再発行を申請してください(➡p.35)。

区 分	送 付 方 法
高等学校を卒業見込みの者など学校を経由して出願した者(ただし、下欄②の者を除く)	在学している学校に送付し、学校から配付されます。
① 受験案内に添付された封筒で個人出願した者	志願者本人に直接送付します。
② 高等学校等の通信制課程を卒業見込みの者	

(2) 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

① 受験票

② 写真票

令和2年度 大学入学者選抜大学入試センター試験受験票
指定された試験場以外では、受験できません。

試験場名	東西大学第1試験場	試験場コード	200011
所在地	東京都目黒区駒場2-19-23		
道 順	京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車、徒歩5分		
問合せ大学	東西大学	試験当日以外の電話	03-3465-8600
		試験当日の電話	03-3465-8600

西多摩高等学校

(コマバ 知ウ)

駒場 太郎 殿

(134406・20011-010001)

受 験 番 号	1001X	発行回数	1
性別	男	平成13年10月02日生	

受験教科名	備 考
1 地理歴史、公民	○ 登録科目数2
日 国 語	—
目 外 国 語	○ 別冊子配付あり
理 科 ①	—
2 数 学 ①	○
日 数 学 ②	○ 別冊子配付あり
理 科 ②	○ 登録科目数1

○を付した教科のみ受験できます。
数学は数学①と数学②を合わせて表示しています。
・登録された教科、科目数を変更することはできません。

写 真
(4cm×3cm)

写真の裏に氏名を記入の上、お名前が読みとれるように貼ってください。

(氏 名)

令和2 大学入試センター試験写真票
センター登録番号 (0001)

写真 (4cm×3cm)

切り取らないこと

性別 男

(氏 名)

200011・1001X・1
(コマバ 知ウ)
駒場 太郎

1 この写真票は、受験票とともに必ず持参してください。
2 この写真票は、試験時間内に回収します。

この受験票は、大学の入学手続きまで必要です。

③ 成績請求票

①受験票

ア 受験票には、試験場に関する事項のほか、受験教科に関する下表の事項が表示されますので、登録内容と受験票の表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

なお、訂正届を提出した場合は、訂正した内容のとおり表示されているかを必ず確認してください。

事 項	表 示 内 容
受験教科名	受験できる教科（登録されている教科）には、受験教科名欄に「○」が表示されています（「―」が表示されている教科を受験することはできません。）。 なお、数学は「数学①」と「数学②」を合わせて表示しますので、「○」があれば両方又はいずれか一方のグループを受験することができます。
登録科目数 （地理歴史、公民、 理科②のみ）	「地理歴史、公民」及び「理科②」は、備考欄に登録科目数が表示されています。例えば、「地理歴史、公民」の備考欄に「登録科目数2」と表示されているのは、「地理歴史、公民の中から2科目を受験する」という意味です。なお、試験当日に登録された科目数の変更はできません。
別冊子試験問題	「数学②」又は「外国語」を受験する者で、出願時に別冊子試験問題の配付を希望した場合のみ、備考欄に「別冊子配付あり」と表示されています。

イ 万一、記載内容に誤りがある場合は、受験票を再発行する必要がありますので、直ちに大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に電話で連絡してください。

ウ 受験票には写真（詳細は「受験上の注意」を参照）を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。

また、受験票は、各大学の個別学力検査等及び入学手続の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

②写真票

写真票には受験票と同一の写真を貼り付け、試験当日、必ず持参してください。写真票は、最初に受験する試験時間に試験室内で監督者が回収します。

③成績請求票

ア 成績請求票は、大学入試センター試験を利用する大学に出願する際、当該大学の出願書類に貼り付けて提出するものですので、大学に出願するまで大切に保管しておいてください。

イ 成績請求票は、必ず受験票に同封されているものを使用してください（コピーした成績請求票は使用できません。）。

ウ 成績請求票は下表のとおり、使用区別に7種類のものがあります。成績請求票を使用する際は、必ず各大学の募集要項等により確認してください。

成 績 請 求 票 の 種 類		枚数	使用区分（出願する大学）
推 薦	国公立推薦入試用	1枚	大学入試センター試験を課す推薦入試を実施する国公立大学（➡注1）
A O	国公立AO入試用	1枚	大学入試センター試験を課すAO入試を実施する国公立大学
前	国公立前期日程用	1枚	前期日程で試験を実施する国公立大学（➡注2）
後	国公立後期日程用	1枚	後期日程で試験を実施する国公立大学（➡注2）
公 中	公立大学中期日程用	1枚	中期日程で試験を実施する公立大学（➡注2）
2 募	国公立第2次募集用	1枚	欠員補充第2次募集を実施する国公立大学
私・短	私立大学・公私立短期大学用	18枚	大学入試センター試験を利用する私立大学・公私立短期大学

（注1） 国公立大学の推薦入試は、大学入試センター試験を課すかどうかにかかわらず、1つの大学・学部にしかな出願できません。

（注2） 国公立大学前期・後期日程及び公立大学中期日程は、それぞれ1つの大学・学部にしかな出願できません。

3 試験場の指定

- (1) 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定します。**指定された試験場は変更できません。**
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なります。

出 願 資 格	指定する試験場	備 考
高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和2年3月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に在学している学校が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は、原則として都道府県を単位とします。 ただし、北海道、岩手県、埼玉県、神奈川県、兵庫県、島根県、鹿児島県、沖縄県については、次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとします。
① 上欄以外の者 ② 高等学校の通信制課程を令和2年3月に卒業見込みの者	志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	

- (3) 試験場は、必ずしも各志願者の現住所の最寄りの試験場が指定されるとは限りません。例えば、下の図のような場合、志願者 B さんが最寄りの試験場①ではなく、少し遠い試験場②に指定されることがあります。試験場①でも遠い志願者 A さんが、更に遠くの試験場②に指定されないようにするために、このようなことが起こります。



- (4) 同じ高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込者は同じ試験場に指定するよう考慮しますが、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間に受験する科目数の組合せにより、あらかじめ試験室を分けますので、**同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されることがあります。**
 なお、試験場の設備等の関係上男子と女子がそれぞれ別の試験場に指定される場合もあります。
 また、**障害等で受験上の配慮を申請した志願者についても、同じ学校の志願者とは別の試験場に指定されることがあります。**
- (5) 試験場を指定する際に考慮される志願者数の分布等は毎年変化しますので、特定の住所や学校の志願者が、**毎年同じ試験場に指定されるとは限りません。**例えば、ある学校の志願者が昨年度まで継続して A 試験場に指定されていたとしても、今年度は B 試験場に指定されることがあります。
- (6) 出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません。

(7) 各志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。指定された試験場以外では、受験できません。

(8) 試験地区区分表（試験地区名）

北海道石狩振興局地区	埼玉県	島根県 (鹿足郡は山口県へ)
〃 空知総合振興局地区	〔草加市，蕨市，さいたま市・川口市の一部（卒業者等）は東京都へ〕	岡山県
〃 上川総合振興局・宗谷総合振興局・留萌振興局地区	千葉県	広島県
〃 後志総合振興局地区	東京都	山口県 (島根県の一部を含む。)
〃 檜山振興局・渡島総合振興局地区	〔埼玉県の一部，神奈川県の一部を含む。〕	徳島県
〃 胆振総合振興局・日高振興局地区	神奈川県	香川県
〃 十勝総合振興局地区	〔川崎市，横浜市鶴見区・青葉区・都筑区，横浜市神奈川区・西区・中区・南区・港北区の一部（卒業者等）は東京都へ〕	愛媛県
〃 根室振興局・釧路総合振興局地区	新潟県	高知県
〃 オホーツク総合振興局地区	富山県	福岡県
青森県 (岩手県の一部を含む。)	石川県	佐賀県
岩手県 〔久慈市，九戸郡洋野町・野田村は青森県へ〕	福井県	長崎県
宮城県	山梨県	熊本県
秋田県	長野県	大分県
山形県	岐阜県	宮崎県
福島県	静岡県	鹿児島県 〔大島郡与論町は沖縄県那覇地区へ〕
茨城県	愛知県	沖縄県那覇地区 〔那覇市，うるま市，宜野湾市，浦添市，名護市，糸満市，沖縄市，豊見城市，南城市，国頭郡，中頭郡，島尻郡（鹿児島県の一部を含む。）〕
栃木県	三重県	沖縄県宮古地区 (宮古島市，宮古郡多良間村)
群馬県	滋賀県	沖縄県石垣地区 (石垣市，八重山郡)
	京都府	
	大阪府	
	兵庫県 (美方郡新温泉町は鳥取県へ)	
	奈良県	
	和歌山県	
	鳥取県 (兵庫県の一部を含む。)	

4 出願後の各種手続

(1) 氏名、現住所、電話番号等の変更

次表のとおり、届出内容と時期によって届出に必要な書類が異なりますので、正しい書類に記入した上で、封筒（表面に必ず「住所等変更・訂正届」又は「受験票再発行等申請」と朱書すること。）に入れて郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に届け出てください。

届出内容	届出の時期	必要な書類
① 氏名、生年月日の変更・訂正 （→注1）	11月21日（木）まで（必着）	住所等変更・訂正届（→p.36）
	11月22日（金）以降 （受験票到着後に届け出てください。）	受験票再発行等申請書（→p.37） （申請方法は、(2)に記載しています。）
② 現住所・電話番号の変更・訂正 （→注2）	3月19日（木）まで（必着）	住所等変更・訂正届（→p.36）

（注1）氏名、生年月日の変更・訂正については、次の点に注意してください。

- ・ 11月22日（金）以降に氏名、生年月日についての変更・訂正届が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。受験票到着後に「受験票再発行等申請書」（→p.37）で届け出てください。

（注2）現住所の変更については、次の点に注意してください。

- ・ 市町村合併等による住所表記の変更の場合は、届出の必要はありません。
- ・ 出願後に現住所を変更しても、試験場は変更できません（→p.32）。
- ・ 11月22日（金）以降に「住所等変更・訂正届」が大学入試センターに届いた場合は、受験票の作成・発送作業のため登録内容の修正ができません。この場合は受験票を志願票に記入された住所に送付します。
- ・ 成績通知を希望しない者については、大学入試センター試験終了後に現住所を変更しても、届出の必要はありません。

(2) 受験票等の再発行、成績請求票の追加発行、過年度成績請求票の発行

これらの発行を希望する場合は、下表のA～Cの届出内容に応じて、必要な書類を封筒に入れて、郵便で大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に申請してください（封筒の表面に「受験票再発行等申請」と朱書すること。）。

なお、受験票・写真票の再発行は、令和2年1月15日（水）～1月26日（日）の間は行いません。この期間に申請があった受験票については、1月27日（月）から志願者本人あてに送付します（成績請求票のみの再発行・追加発行、過年度成績請求票の発行は、上記期間であっても行います。）。

届出内容	届出上の注意事項	必要な書類
A 再発行 受験票・写真票・成績請求票 （令和2年4月24日（金）必着）	次のア～オに該当する場合は、受験票、写真票、成績請求票の全部又は一部を再発行します。 ア 受験票等が、12月16日（月）までに届かない場合（不着） イ 紛失した場合 ウ 汚損又は破損した場合 エ 記載内容に誤りがあった場合 オ 氏名に変更があった場合 ＊ 再発行した受験票等は、当初発行したものと用紙の色が異なります。 ＊ 「<u>現住所・電話番号の変更・誤り</u>」の場合は、再発行申請の必要はありません。現住所変更の届出をしてください（→p.34）。 ＊ 写真票は、令和2年1月15日（水）以降は、再発行しません。 受験票、写真票、成績請求票は再発行すると、最新のものの以外は無効になります。 ただし、「国公立 AO 入試用成績請求票」「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」は、再発行してもそれまでのものは無効とはなりません。	ア 受験票再発行等申請書 （37 ページをコピーしたものに必要な事項を記入する。） ＊ <u>大学入試センター試験終了後に受験票を再発行申請する場合は、写真欄に写真1枚を貼り付け、必ず署名すること。</u> イ 返信用封筒 （長形3号：縦23.5cm・横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、672円分（→注）の切手（簡易書留郵便・速達料金を含む。）を貼る。） ＊ <u>受験票等が、12月16日（月）までに届かない場合（不着）の再発行申請は、返信用封筒は必要ありません。</u> ウ 当初発行の受験票・写真票・成績請求票 ＊ <u>申請理由が汚損、破損、記載内容の誤り又は氏名の変更の場合のみ同封すること。</u>
B 追加発行 国公立 AO 入試用及び私立大学・公私立短期大学用成績請求票 （令和2年4月24日（金）必着）	当初発行枚数である「国公立 AO 入試用成績請求票」1枚、「私立大学・公私立短期大学用成績請求票」18枚を超えて必要とする場合は、追加発行します。	ア 受験票再発行等申請書 （37 ページをコピーしたものに必要な事項を記入する。） イ 返信用封筒 （長形3号：縦23.5cm・横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、672円分（→注）の切手（簡易書留郵便・速達料金を含む。）を貼る。）
C 過年度成績請求票の発行	大学入試センター試験の過年度（平成29年度から平成31年度）の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要があります。	

（注） 上記の金額は令和元年5月31日現在のものです。郵便料金に変更になった場合は、変更後の郵便料金によってください。

① 志願者本人の氏名と生年月日を記入してください

フリガナ				生年月日	年	月	日
氏名				□昭和 □平成			

② 訂正する箇所のみ、訂正後の内容を記入してください

○氏名	フリガナ								○生年月日	生	年	月	日
	漢字								□昭和 □平成				

○住所	新郵便番号			-			
	新住所	(フリガナ)					

○電話番号（変更のある電話番号のみ記入してください）

新電話番号（自宅・下宿・寮）											
				-				-			
新電話番号（携帯電話）											
				-				-			

◎「性別」に登録の誤りがある場合は、直ちに大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に電話で連絡してください。

③ 確認はがきのコピーを貼り付けてください

確認はがき貼り付け欄

登録内容の訂正期限 令和元年11月5日(火)(消印有効)

高等学校等 コード	●●●●●●●●●●										
フリガナ 氏名	●●●●●●●●●●										
生年月日	●●●●●●●●●●					性別	●				
連絡先等	●●●●●●●●●● 〒●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●● ●●●●●●●●●●										
成績通知	●●		受験上の配慮	●●●●●●●●							
イヤホン不適合措置	●●										
登録教科	国語	●	●●●●●●●●								
	地理歴史、公民	●	●●●●●●●●								
	数学	●	●●●●●●●●								
	理科	●	●●●●●●●●								
	外国語	●	●●●●●●●●								
別冊子試験問題	数学②	●●		外国語	●●						

提出前に確認してください

氏名にコンピュータで登録できない文字が含まれる場合は、その文字が置き換えられるか、全てカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。

住所の後半部分(マンション名や「字(あざ)」以降の住所など)はカタカナで表示されますが、登録の誤りではありません。

①「成績通知」「受験上の配慮」「イヤホン不適合措置」は、出願時に申し出た内容を変更することはできません。

②「登録教科」「別冊子試験問題の有無」を訂正する場合は、11月5日までに、29ページの「登録教科等訂正届」に必要事項を記入して提出してください。

令和元年10月●日発行 (00000011-010001-000001)

【訂正届の提出者全員】

「確認はがき」のコピーを貼り付けてください。

11月22日以降に到着した分については、受験票への印字が間に合いませんので、受験票到着後に手続を行ってください。
→受験案内34ページ

届出の際は、このページをコピーして使用してください。

出願後

令和2年度大学入試センター試験 受験票再発行等申請書

① 全ての項目を記入してください

フリガナ											生 年 月 日	年	月	日
氏 名											☐ 昭和	☐ 平成		
郵便番号					-									
現住所														
連 絡 先 電 話 番 号														
高等学校等コード					学 校 名 ※									

※ 高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校以外の出身者は出願資格を記入してください。

② A～Cのうち、必要事項に☑チェック・記入をしてください

A 再発行

申請理由	☐ 不着	☐ 紛失	☐ 汚損・破損	※「不着」「紛失」以外の理由の場合は、所持している受験票・写真票・成績請求票を同封してください。	
	☐ 記載内容の誤り	誤		→	正
	☐ 氏名の変更	フリガナ		→	フリガナ
		旧氏名			新氏名

再発行するもの	チェックをしたもののみ、今まで発行されていたものは無効になります。	
	☐ 受験票 ☐ 写真票（試験終了後は、再発行不要です。） ☐ 成績請求票 国公立推薦入試用 ☐ 成績請求票 国公立前期日程用 ☐ 成績請求票 国公立後期日程用 ☐ 成績請求票 公立大学中期日程用 ☐ 成績請求票 国公立第2次募集用	
	今まで発行されていたものは無効になりません。 ☐ 成績請求票 国公立AO入試用 ☐ 成績請求票 私立大学・公私立短期大学用	

写 真

写真 4 cm × 3 cm

写真の裏に氏名を記入し、しっかり貼ってください。

再発行と署名を申請に必ず要する場合は、試験終了後に受験票を提出してください。

署名欄

必ず署名してください。

B 成績請求票の追加発行

発行するものと枚数	☐ 国公立AO入試用 枚	☐ 私立大学・公私立短期大学用 枚
-----------	---	--

C 過年度成績請求票の発行

センター試験年度	☐ 平成29年度 ☐ 平成30年度 ☐ 平成31年度		
発行するもの	☐ 国公立推薦入試用	☐ 国公立AO入試用	☐ 国公立前期日程用
	☐ 国公立後期日程用	☐ 公立大学中期日程用	☐ 国公立第2次募集用
	☐ 私立大学・公私立短期大学用		

申請の際は、このページをコピーして使用してください。

出
願
後

5 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

- (1) 大学入試センター試験の出願後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため受験上の配慮を希望する者には、申請に基づき大学入試センターで審査の上、「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に準じた受験上の配慮事項を決定します。

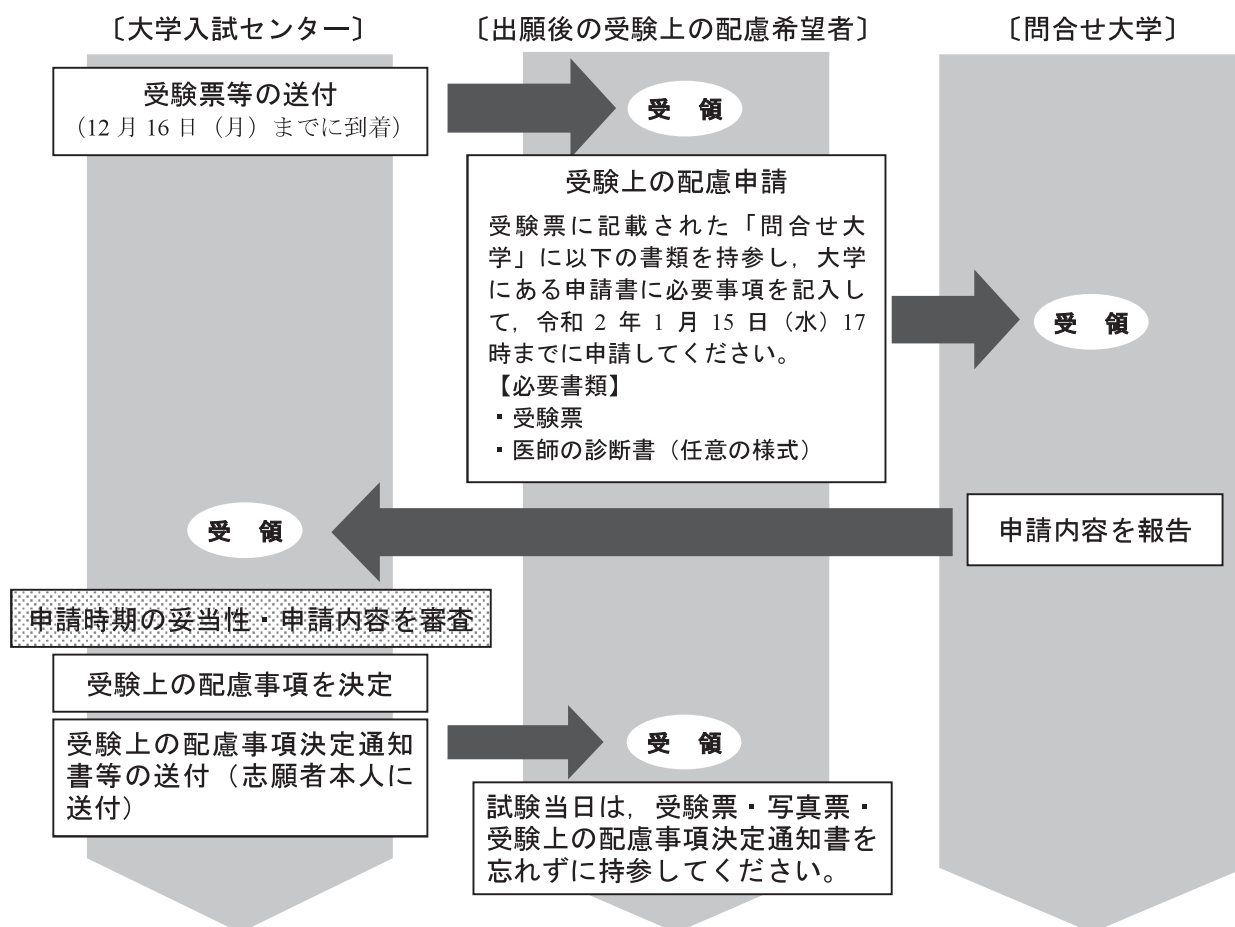
なお、この配慮は、申請する理由が出願後に発生したときに限り行うものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

- (2) 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する場合は、受験票の「問合せ大学」欄に記載された大学に、志願者本人又は代理人がまず電話連絡した上で、令和2年1月15日（水）17時までに「受験票」及び「医師の診断書（任意の様式）」を持参し、申請してください。なお、「医師の診断書（任意の様式）」には、発症等の時期及び大学入試センター試験において希望する受験上の配慮が必要な理由を必ず明記してください。大学入試センターでは、「問合せ大学」から回付された書類を審査の上、配慮事項を決定し、「受験上の配慮事項決定通知書」により志願者に通知します。「受験上の配慮事項決定通知書」受領後は記載内容を志願者本人等が確認し、申請した配慮事項等に漏れがある場合は、大学入試センター事業第1課（→裏表紙）まで直ちに連絡してください。

また、障害等の程度や希望する配慮によっては、十分な審査を行うため、大学入試センターから、「医師の診断書」以外に追加で書類等の提出を求める場合があります。

- (3) 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮が行えないこともありますので、不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要がある場合には、速やかに申請してください。

- (4) 申請時期が遅い場合には「受験上の配慮事項決定通知書」等が試験前日までに届かないことがあります。この場合、大学入試センターから決定した配慮事項を電話で連絡します。



大学入試センター試験 令和2年1月18日(土)・19日(日)

リスニング

1 リスニングの概要

(1) リスニングを実施する教科・科目

リスニングは外国語「英語」の一領域として実施します。外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、筆記とリスニングの双方を受験してください。

なお、「英語」以外の外国語の筆記を受験した場合、リスニングを受験することはできません（→p.3）。

(2) 試験時間・解答時間

リスニングは、IC プレーヤーを使用し、受験者が個々に音声を取りながら解答する試験です。音声は、左右とも同一の音声がモノラルで流れます。

また、試験時間 60 分の中で、解答開始前に IC プレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者各自で行った後、30 分間で解答します（→p.40）。

なお、筆記とリスニングの間には、休憩時間が設けられています。

(3) リスニングにおける受験上の配慮

病気・負傷や障害等のために、リスニングにおいて配慮を希望する者は、受験上の配慮を申請してください（→p.15）。

(4) イヤホン不適合措置

リスニングで使用する IC プレーヤーに付属しているイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置」を申請してください（→p.43）。上記(3)の受験上の配慮とは申請方法が異なるので注意してください。

2 リスニング受験上の注意

(1) リスニングでは、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。**試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。**

(2) リスニングでは、他の受験者の聞き取りに支障を来す不必要な音をたてることがないように注意してください。

(3) IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり、音声流れなかったりした場合、音声途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってからこれらを申し出ても、救済措置（再開テスト）はありません（→p.44）。

(4) 解答時間中の質問は、一切受け付けません。

3 リスニングの進行

(1) リスニングの進行の概要

外国語(筆記)試験

16:30 外国語(筆記)試験終了

この休憩時間中に

- 携帯電話やスマートフォン、時計など音の出る機器のアラーム設定を解除し、機器の電源を切る。

17:05 受験者入室終了

17:10 試験開始 (*この時刻までに必ず入室)

- 問題冊子、解答用紙配付
- 解答用紙に、受験番号・氏名・試験場コードを記入・マークする。
- IC プレーヤー、イヤホン、音声メモリー配付
- 監督者の指示に従い、IC プレーヤーの操作準備を行う。

確認音声

(約 2 分間)



- 確認音声(試験問題ではない)を聞いて、IC プレーヤーが正常に動くことを確認し、音量を調節します。

問題音声

(約 30 分間)



- 再生ボタンを押した後は、試験終了まで自動的に音声流れるので、問題音声の進行に従って、問題を解答します。
問題音声は設問ごとに2回流れます。また、1回目の音声と2回目の音声の流れた後にはそれぞれ、解答するために音声流れない時間があります。
- 解答は、必ず設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて、解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません。

18:10 試験終了

- 答案回収
- IC プレーヤー・イヤホン・音声メモリー回収

受験者退室

【IC プレーヤーの操作】

1

監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.41)に従い、「電源ボタン」を「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。

2

監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.41)に従い、イヤホンを耳につけ、「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光るまで長く押してから、音声を聞きながら音量つまみを回して音量を調節する。



3

監督者の解答開始の指示後、解答用紙表面のイラスト(→p.41)に従い、イヤホンを耳につけ、「再生ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光って音声聞こえるまで長く押し続ける。



* 音声に不具合等があれば、ためらわずに、黙って手を高く挙げる(→p.44)。

音声中の指示でイヤホンを耳から外す。

確認はじめ
(監督者指示)

解答はじめ
(監督者指示)

解答やめ
(監督者指示)

(2) 試験終了後の IC プレーヤー等の取扱い

IC プレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは、試験終了後に回収します。これらを試験室から持ち出すと、不正行為となることがあります(→p.48)。ただし、問題冊子は持ち帰ってください。

なお、問題音声は、試験終了後に大学入試センターのホームページ(→裏表紙)で確認することができます。

(3) ICプレーヤーの操作

ICプレーヤーの操作は、解答用紙裏面及び表面のイラストに従い行います。このうち、①～④の操作については、受験者が各自で行います。⑤～⑦及び表面のイラストの操作については、それぞれ監督者の指示があるまで行ってはいけません。

【リスニング解答用紙裏面】

＜IC プレーヤーの準備方法＞

裏 面

①～④を各自で行ってください。分からないことがあったら、手を挙げて知らせてください。⑤～⑦は指示があるまで行わないでください。

① ICプレーヤーに差し込まれたイヤホンを、念のため、もう一度押し込み、奥までしっかりと差し込まれていることを確認した後、イヤホンの「コードどめ」をほどく。

○（良い例） ×（悪い例）

② ICプレーヤーを持ち、音声メモリーの「保護カバー」を上方向に開ける。

③ 音声メモリーを袋から取り出す。ICプレーヤー表面が見えるようにした状態で、矢印の面を表にして、奥に突き当たるまでしっかりと差し込む。

④ 「保護カバー」を閉じる。なお、閉じる際は、「保護カバー」の真ん中を押す。

⑤ ICプレーヤー裏側の「絶縁シート」を引き抜き、ICプレーヤーが入っていた袋の中に入れる。
（注1）引き抜く時に表面のボタンを押さないように注意すること。
 （注2）次の指示があるまで、⑥には進まないこと。

⑥ ①の「電源ボタン」を、「電源ランプ」が光るまで長く押し続ける。
（注） 次の指示があるまで、⑦には進まないこと。

⑦ ICプレーヤー右側の「スライドカバー」を下方向に移動させる。

イヤホンの左右を確認してから、耳に付け、②の「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。
 「作動中ランプ」が光ったら音量つまみを回して、聞きやすい音量に調節する。

※左右を確認して装着する
コードは前

【リスニング解答用紙表面（抜粋）】

「解答はじめ」の指示があったら、次の手順で操作すること。

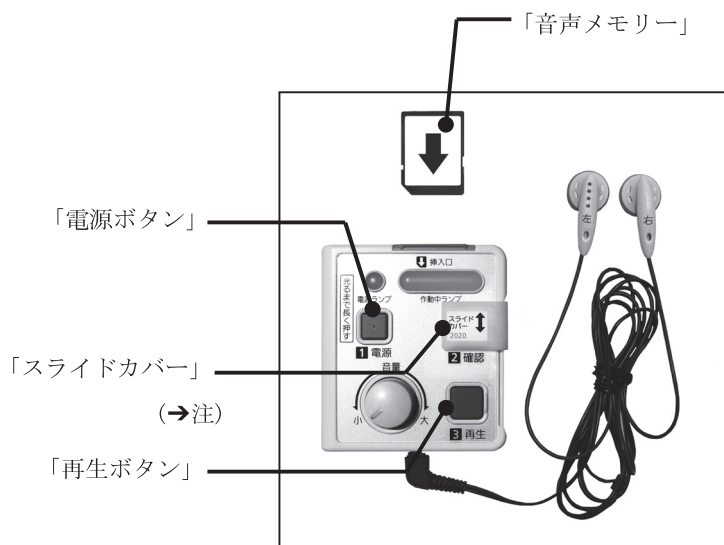
解答開始時の操作手順

- イヤホンの左右を確認しながら、耳に付ける。
- 「スライドカバー」を上方向に移動させる。

- ③の「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。

以後は、問題音声の進行に従って、解答しなさい。

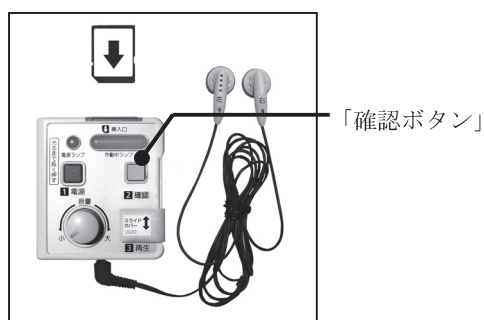
【参考】 各部の名称



(注) 配付時は「確認ボタン」の上に配置され、「確認ボタン」を押す直前に「再生ボタン」の位置までスライドさせます。
同様に「再生ボタン」を押す直前に「確認ボタン」の位置にスライドさせます。



※ 保護カバーを開けた状態



※ スライドカバーを下に移動させた状態

(4) IC プレーヤーの操作の注意点

- ① IC プレーヤーは各ボタンを単にひと押ししただけでは、作動しません。**1**電源ボタンは電源ランプが緑に光るまで、**2**確認ボタンと**3**再生ボタンは作動中ランプが赤く光るまで、長く押し続けます。
- ② **1**電源ボタン、**2**確認ボタン、**3**再生ボタンの順番を守らない操作は受け付けません。
「確認ボタン」を押し、確認音声を聴取した後でないと「再生ボタン」を押しても問題音声は流れません。
- ③ 各ボタンを押した後に音声メモリーを引き抜くと、再び音声を再生することができません。
音声メモリーを差し込み、保護カバーを閉じた後は、保護カバーを開けないでください。
- ④ IC プレーヤーには「一時停止」，「早送り」，「巻き戻し」の機能はありません。

4 IC プレーヤーの操作体験

大学入試センターのホームページ (→裏表紙) にある「IC プレーヤー操作ガイド」では、IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの 3 つのボタンの長押しの方法や操作上の注意事項、リスニングの流れが分かるようになっています。

また、これまでの試験で実際に使用された問題音声を聞くことができます。

5 イヤホンが装着できない場合

(1) イヤホン不適合措置

試験で使用するイヤホンが耳に装着できない者には、試験時間中にヘッドホンを貸与します。ヘッドホンの貸与を希望する場合は、**出願時に申請する**必要があります。

(2) イヤホンの装着具合の確認

出願する前に、在学する（又は出身）高等学校等や最寄りの大学入試センター試験利用大学で実際にイヤホンが耳に装着できるかどうかを確認し、イヤホンが耳に装着できない場合、必ず出願時にイヤホン不適合措置を申請してください。

(3) 申請方法

イヤホン不適合措置を希望する志願者は、出願時に「イヤホン不適合措置申請書」を提出する必要があります。次の枠内の①又は②の方法により申請書を入手し、最寄りの大学入試センター試験を利用する大学（大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しています。）の入試担当窓口で志願者本人が出向き確認の署名をしてもらった後、志願票（第Ⅱ面）の所定の欄（→p.20）に貼り付けて出願してください。

詳しい申請書の記入方法や申請方法は、ホームページの「イヤホン不適合措置申請書」に記載してあります。

なお、離島に居住している等の理由で、最寄りの大学入試センター試験を利用する大学で確認の署名をしてもらうことが困難な場合は、令和元年 9 月 27 日（金）までに大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に連絡してください（出願期間は志願者問合せ専用電話が混み合いますので、早めに連絡してください。）。

- | |
|---|
| <p>① 大学入試センターのホームページ（→裏表紙）の「英語リスニングについて」から「イヤホン不適合措置申請書」をダウンロードしてください。</p> <p>② ホームページからダウンロードできない場合は、次のア・イを封筒（表面に「イヤホン不適合措置申請書請求」と朱書すること。）に入れて大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に送付してください。</p> <p>ア 氏名、現住所、電話番号、在学（又は出身）学校名を記入した便せん等</p> <p>イ 返信用封筒（長形 3 号：縦 23.5cm・横 12cm、表面に現住所・氏名を記入し、82 円分（→注）（速達希望の場合は 362 円分（→注））の切手を貼る。）</p> |
|---|

（注） 上記の金額は令和元年 5 月 31 日現在のものです。郵便料金が変更になった場合は、変更後の郵便料金によってください。

(4) 注意事項

出願時にイヤホン不適合措置の申請がない場合は、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、ヘッドホンの貸与は行いません。この場合、イヤホンを手で押さえて受験することになります。

なお、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、イヤホンを装着できなくなった場合は、出願後の不慮の事故等による受験上の配慮（→p.38）によりヘッドホンの貸与を申請することができます。

6 解答時間中の事故等と再開テスト

(1) 解答時間中の事故等への対応

- ① IC プレーヤーの音声が停止する等により聞き取れなくなった場合又は問題冊子の乱丁、落丁や印刷不鮮明で、解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。試験が終わってからこれらを申し出ても、救済措置（再開テスト）はありません。
- ② 解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については、周囲の受験者の解答の妨げにならないよう筆談で行います。
- ③ IC プレーヤーの不具合等を申し出た受験者については、申出の内容や再開解答番号（試験が中断した時点で解答していた番号）について確認した上で、試験終了後に「再開テスト」を実施します。
- ④ 体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は、監督者から周囲の受験者に対し、試験の中断を指示することがありますので、その際は、監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は「再開テスト」を受験することができますので、試験終了まで静かに待機してください。

(2) 再開テスト

解答時間中に、解答が続行できないような IC プレーヤーの不具合や不慮の事故等があった場合には、監督者の指示で試験を中断することがあります。このような場合には、リスニングの試験終了後、別の IC プレーヤーを使って当初解答していたものと同じ試験問題により、中断した設問から試験を再開します（この試験を「再開テスト」といいます。）。

なお、解答時間中に日常的な生活騒音等が発生し、解答に支障があったと申し出ても、再開テストの対象とはなりません（➡p.47）。



1 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験場は受験票で指定します。指定された試験場以外では受験できません。
- ② 受験票及び写真票は、成績請求票と切り離し、試験当日必ず持参してください。
- ③ 受験教科として登録していない教科の試験時間は、試験室に入室できません。万一、登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。
- ④ 受験者入室終了時刻から試験終了までは、試験室から退室できません。
体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。また、一時退室していた時間分の試験時間の延長は認められません。
- ⑤ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻（17:10）までに入室していない場合は受験することができません。
なお、「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は、遅刻者の試験室への入室限度（「地理歴史、公民」は 9:50、「理科②」は 15:50）までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。
- ⑥ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合、試験当日に 1 科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。同様に、「1 科目受験する」と登録した場合、試験当日に 2 科目を受験することもできません。
- ⑦ 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合の試験時間は 130 分です。第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。あらかじめトイレ等を済ませてから入室するようにしてください。
- ⑧ 「理科①」は必ず 2 科目を受験してください。1 科目のみの受験はできません。
- ⑨ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑩ インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験はできません。追試験の受験を申請してください（→p.50）。

(2) 試験時間中の注意事項

① 所持品の取扱い

ア 受験票、写真票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・ 黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ
- ・ シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。）
- ・ プラスチック製の消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- ・ 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

イ 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為（→p.48）となることがあります。

ウ 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

エ 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

② 解答上の注意事項

ア 解答には、必ず黒鉛筆（H、F、HBに限る。）及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。

イ 解答用紙に解答科目がマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、解答科目が特定できないため、0点となります。

ただし、次の事例のように解答科目が特定できる場合は、特定できた科目として採点します。

(ア) 外国語・・・別冊子試験問題を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしていても、別冊子試験問題が配付されていないため、「英語」として採点します。

(イ) 数学②・・・別冊子試験問題を希望していない場合は、別冊子試験問題の科目をマークしていても、別冊子試験問題が配付されていないため、「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」のいずれか1科目をマークしている場合に限り、マークしている「数学Ⅱ」又は「数学Ⅱ・数学B」で採点します。

(注) 追試験では、別冊子試験問題の科目の受験を申請している場合、申請科目のみの試験問題が配付されるため、申請科目で採点します。

ウ 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

エ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。

③ その他の注意事項

ア 配付された問題冊子は、その試験時間が終了するまで、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。

イ 地理歴史、公民においては、地理歴史と公民の2冊の問題冊子が配付されます。試験時間中は2冊の問題冊子を机上に置いてください。

また、数学②、外国語において別冊子試験問題の配付を希望した場合は、希望した別冊子試験問題と数学②では「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」の問題冊子が、外国語では「英語（筆記）」の問題冊子が配付されます。この場合においても試験時間中は2冊の問題冊子を机上に置いてください。

ウ 試験時間中に監督者が写真票と受験者の顔の確認を行います。マスクや帽子を着用している場合、本人確認のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

エ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音もれ、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

(3) 不正行為

- ① 次のことをすると**不正行為となります**。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、**それ以後の受験はできなくなります**。また、受験した大学入試センター試験の**全ての教科・科目の成績を無効とします**。

ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ**故意に虚偽の記入**（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ **カンニング**（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に**答えを教えたりカンニングの手助け**をすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、**定規**（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、**コンパス**、**電卓**、**そろばん**、**グラフ用紙等の補助具**を使用すること。

ク 試験時間中に、**携帯電話**、**スマートフォン**、**ウェアラブル端末**、**電子辞書**、**IC レコーダー等の電子機器類**を使用すること。

ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、**鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること**。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為となることがあります**。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、**定規**（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、**コンパス**、**電卓**、**そろばん**、**グラフ用紙等の補助具**や**携帯電話**、**スマートフォン**、**ウェアラブル端末**、**電子辞書**、**IC レコーダー等の電子機器類**、**教科書**、**参考書**、**辞書等の書籍類**をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 監督者の指示に従わず、**IC プレーヤー**を操作したり、**IC プレーヤーの不具合について虚偽の申出**をすること。

エ **IC プレーヤー**、**イヤホン**及び**音声メモリー**を試験室から持ち出すこと。

オ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような**虚偽の申出**をすること。

カ 試験場において他の受験者の**迷惑となる行為**をすること。

キ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

ク その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(4) 解答用紙の正しいマーク・記入例

(試験場コード 200011, 受験番号 1120C の駒場次郎が「数学 I・数学 A」を解答する場合)

マーク例

良い例	悪い例
●	○ ⊗ ○ ⊖ ○

③

- ・ 1 科目だけマークしなさい。
- ・ 解答科目欄が無マーク又は複数マークの場合は, 0 点となります。

解答科目欄

数 学 I ○	数 学 A ●	数 学 I ●
------------------	------------------	------------------

解答科目
チェック欄

✓

① 受験番号を記入し, その下のマーク欄にマークしなさい。

↓

受 験 番 号 欄				
千位	百位	十位	一位	英字
1	1	2	0	C
—	(0)	(0)	●	(A)
●	●	(1)	(1)	(B)
(2)	(2)	●	(2)	●
(3)	(3)	(3)	(3)	(H)
(4)	(4)	(4)	(4)	(K)
(5)	(5)	(5)	(5)	(M)
(6)	(6)	(6)	(6)	(R)
(7)	(7)	(7)	(7)	(U)
(8)	(8)	(8)	(8)	(X)
(9)	(9)	(9)	(9)	(Y)
—	—	—	—	(Z)

受験番号マーク
チェック欄

✓

② 氏名・フリガナ, 試験場コードを記入しなさい。

↓

フリガナ	ユ マ バ ジ ロ ウ					
氏 名	駒 場 次 郎					
試験場 コード	十萬位	萬位	千位	百位	十位	一位
	2	0	0	0	1	1

氏 名 等
チェック欄

✓

2 追試験及び再試験

(1) 追試験の実施

① 追試験の対象者

- ア 疾病（インフルエンザ・ノロウィルス・風邪等を含む。）・負傷により試験を受験できない者
- イ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者
- ウ その他やむを得ない事由（両親等の危篤・死亡、自宅の火災等）により試験を受験できない者

② 実施期日は、令和2年1月25日（土）、26日（日）です。ただし、(2)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合は、再試験と同一の期日に実施します。

③ 出題教科・科目及び試験時間等は、本試験に準じます。

④ 追試験の試験場は、原則として全国を2地区に分け地区ごとに1か所設定します。
なお、地区別の試験場は、受験票等を送付する際に同封する「受験上の注意」に明示します。

⑤ 追試験の受験申請方法等の詳細については、「受験上の注意」に明示します。

⑥ 追試験についての再試験及び追試験はありません。

(2) 再試験の実施

① 再試験は、雪・地震等による災害、試験実施上の事故、その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できない又は完了しなかった場合のみ実施します。

② 再試験の実施期日は、令和2年1月25日（土）、26日（日）とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

③ 再試験は、原則として所定の期日までに受験希望を申し出た場合に許可します。

④ 再試験についての再試験及び追試験はありません。



試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入試センター試験の本試験，追試験・再試験の正解及び配点については，各日の全試験終了後に，その日行われた科目分を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入試センター試験の平均点等については，令和2年1月22日（水）に中間発表を，2月6日（木）に最終発表を，大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で行う予定です。

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入試センター試験の本試験において次の各科目間で，原則として，20点以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には，得点調整を行います。

ただし，受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間

(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無については，令和2年1月24日（金）（予定）に発表し，得点調整を行う場合は，対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（→裏表紙）で公表します。

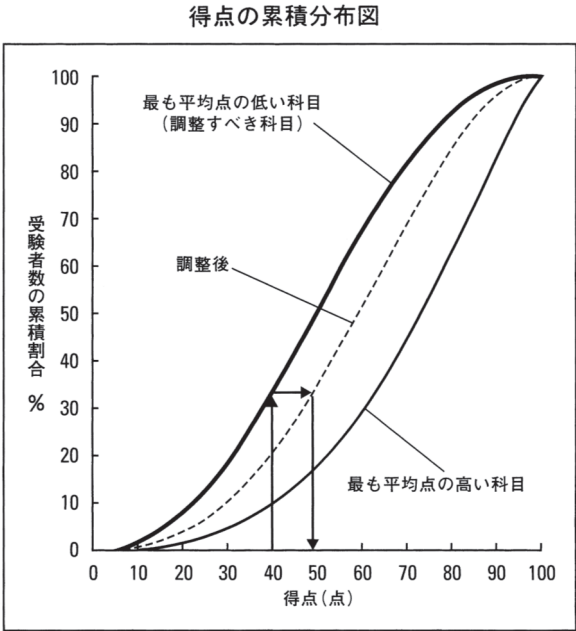
(3) 得点調整の方法

- ① 得点調整は，(1)の①～③のグループごとに，「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては，対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から，平均点差の全てを調整するのではなく，調整後も平均点差が15点（通常起こり得る平均点の変動範囲）となるようにします。

＊ 「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合（％）が等しい点（等分位点）の差（分位点差）を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、 $15 \text{ 点} \div (\text{最も平均点の高い科目の平均点} - \text{最も平均点の低い科目の平均点})$ とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。



3 試験成績の大学への提供方法

- (1) 大学入試センターは、大学入試センター試験を利用する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入試センター試験出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。
- (2) 「国語」の特定分野を利用する大学へは、「国語」の得点とは別に出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点も提供します。
- (3) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において 2 科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第 1 解答科目、第 2 解答科目別の得点及びその合計点」又は「第 1 解答科目の得点」のいずれかを提供します。
 なお、大学が 1 科目のみの得点を利用する場合には、**第 1 解答科目の得点を優先して利用すること**がありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。
- (4) 「理科①」の成績については、選択した科目別の得点及びその合計点を提供します。
- (5) 「英語」の成績については、筆記、リスニング別の得点を提供します。
- (6) 大学入試センター試験を利用する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、次表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
国語、外国語の 2 教科から 1 教科選択	当該大学の入学志願者が国語、外国語を受験していれば、この 2 教科の得点
「物理」「化学」「生物」「地学」の 4 科目から 1 科目選択	当該大学の入学志願者が「理科②」で 2 科目を受験した場合、第 1 解答科目として「物理」を、第 2 解答科目として「化学」を解答していれば、大学からの請求に基づき、この 2 科目の得点とその合計点、又は第 1 解答科目の「物理」の得点のいずれか



1 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する選抜

大学入試センター試験を利用する大学では大学入試センター試験の過年度（過去3年前まで）の成績を当該年度の入学選抜に利用することがあります。

過年度成績の利用については各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 大学入試センター試験の「過年度成績請求票」について

大学入試センター試験の過年度（平成29年度～平成31年度）の成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要がありますので、手続方法（→p.35）に従って、大学入試センターに申請してください。

(2) その他の注意事項

- ① 令和3年度以降の大学入学選抜において、令和2年度の大学入試センター試験の成績を利用する大学へ出願する際には、「令和2年度大学入試センター試験受験票」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。
- ② 過年度の大学入試センター試験の成績を利用する大学へ出願する際には、「該当する年度の大学入試センター試験受験票」も必要となりますので、紛失して手元にない場合は、志望大学に問い合わせてください。

2 志望大学に確認すること

大学入試センター試験の志願者が志望大学に確認すべき主な事項は、次のとおりです。各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 志望大学が大学入試センター試験で入学志願者に解答させる教科・科目

大学入試センター試験を利用する各大学は、大学入試センター試験の出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。各志望大学の募集要項等をよく読んで確認の上、大学入試センター試験の出願をしてください。

(2) 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等（→p.30）

(3) 志望大学を受験する際の「大学入試センター試験受験票」の取扱い（→p.30）

(4) 障害等のある志願者の志望大学との事前相談（→p.16）

3 個人情報の取扱い

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人大学入試センター保有個人情報の適切な管理のための措置に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。
- (2) 大学入試センターは、志願票等に記載された氏名、住所その他の個人情報を、大学入試センター試験の実施（出願処理、試験実施）及びこれに付随する業務を行うために使用します。
- (3) 大学入試センターは、志願者が個別学力検査等に出願した大学入試センター試験を利用する大学（以下、「各大学」という。）に対して、当該志願者の大学入試センター試験の成績、受験状況及び志願票に記載された個人情報を直接提供します。
- (4) 大学入試センターは、各志願者の国公立大学への出願状況、合格状況及び入学手続状況を収集し、必要に応じ各国公立大学へ提供します。
- (5) 大学入試センター及び各大学は、収集した個人情報を、大学入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料として利用することがあります。調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
- (6) 大学入試センターは、上記の各種業務での利用に当たって、一部の業務を大学入試センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。
この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (7) 大学入試センターは、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく当該志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。



(他の出願資格の者→p.72)

ろ	酪農学園大学附属	と	01518	A
り	わの森三愛			
立	命館慶祥	り	01504	A
わ	稚内大谷	り	01539	D
(特別支援学校)				
に	日本体育大学附属高	り	01941	A
等支援				
上記以外の高等学校等 01999 C				
青 森 県				
国 立				
(特別支援学校)				
ひ	弘前大学教育学部附	属	02051	G
属特別支援				
(高等専門学校)				
は	八戸工業高専	り	02091	F
公 立				
(高等学校)				
あ	青森	森	02101	G
青	森	北	02104	A
青	森	業	02141	F
青	森	業	02148	C
青	森	業	02106	H
青	森	西	02102	E
青	森	東	02103	C
青	森	南	02105	K
鰯	板ケ	沢	02116	E
い	柳	柳	02119	K
お	大	間	02132	G
大	上	湊	02131	J
尾	木	合	02170	K
柏	農	業	02137	H
金		木	02121	A
木		造	02115	G
黒		石	02123	H
黒	石	業	02150	E
五	所	原	02118	A
五	川	工	02144	A
五	川	林	02138	F
五	川	戸	02133	E
三		戸	02134	C
三	本	木	02128	J
三	本	業	02139	D
七		戸	02126	B
田	名	子	02159	J
田		部	02130	A
鶴	和	田	02122	K
十	和	業	02145	J
中	田	西	02169	F
名	久	里	02120	C
浪	井	農	02140	H
野	農	岡	02124	F
の	辺	地	02125	D
は		戸	02110	F
八	戸	北	02112	B
八	戸	業	02143	B
八	戸	業	02152	A
八	戸	産	02147	E
八	戸	央	02154	H
八	戸	西	02113	A
八	戸	東	02111	D
ひ	弘	前	02107	F
弘	前	業	02142	D
弘	前	業	02149	A
弘	前	央	02108	D
弘	前	南	02109	B
ほ		斗	02153	K
み		沢	02129	G
三	沢	業	02151	C
む	つ	業	02146	G
む		石	02127	A
ろ	六	戸	02161	A
六	ケ	所	02160	B
(特別支援学校)				
あ	青森第一高等養護	り	02457	A
青	森第二高等養護	り	02463	F

[illegible]

遠	野	緑	峰	03157H
杜			陵	03106C
西	和		賀	03125K
沼	宮		内	03110A
花			泉	03140C
花	北	青	雲	03118G
花	卷	農	北	03115B
花	卷	卷	業	03117J
福			南	03116A
福	岡	工	岡	03172A
前			業	03173K
水	沢	工	沢	03130F
水	沢	商	沢	03126H
水	沢	農	業	03128D
宮			業	03129E
宮	古		業	03127F
宮	古	工	古	03160H
宮	古	商	北	03177B
宮	古	水	業	03161F
盛	岡		業	03162D
盛	岡	工	産	03163B
盛	岡	商	北	03105E
盛	岡	市	業	03108K
盛	岡	第	業	03109H
盛	岡	第	立	03176D
盛	岡	第	一	03101B
盛	岡	第	三	03103J
盛	岡	第	四	03104G
盛	岡	農	二	03102A
盛	岡		業	03107A
山	岡		南	03180B
			田	03159D
(特別支援学校)				
い	関	明	支	援03445C
か	石	雲	支	援03444E
く	祥	拓	支	援03455A
け	慈	陽	支	援03456J
は	気	陵	支	援03457G
ま	花	清	支	援03459C
み	前	風	支	援03442J
も	宮	峰	支	援03451H
	盛	恵	支	援03446A
	盛	視	支	援03452F
	盛	青	支	援03454B
	盛	松	支	援03452F
	盛	聴	支	援03454B
	盛	岡	支	援03432A
	盛	岡	支	援03441A
	盛	岡	支	援03431C
私 立				
(高等学校)				
い	一	関	学	院03510G
	岩	関	修	紅03509C
	岩	手	女	手03501H
き	協	和	水	第03513A
こ	江	南	義	上03505A
せ	専	修	学	北03511E
は	花	大	学	東03514K
も	盛	岡	百	学03502F
	盛	岡	合	園03507G
	盛	岡	学	校03504B
	盛	岡	誠	属03506J
	盛	岡	附	属03508E
	盛	岡	中	央03508E
(特別支援学校)				
さ	三	愛	学	舎03951K
上記以外的高等学校等 03999D				
宮 城 県				
国 立				
(特別支援学校)				
み	宮城教育大学附属特	別	支	援04051H
(高等専門学校)				
せ	仙	台	高	専04093C
公	立			

		(高等学校)		
い	伊具			04151D
石	石		卷	04110G
石		卷	工	北 04135B
石		卷	好	業 04155G
石		卷	文	館 04122A
石		卷	商	業 04159K
石		卷		西 04183B
泉				04114K
泉		松		陵 04178F
泉		館		山 04180H
一	迫	商		業 04162K
岩	ヶ			崎 04116F
岩	出			山 04132H
お	河	商		業 04160C
か				田 04106J
	島	商		業 04161A
	美	農		業 04147F
く				川 04148D
け		仙		沼 04199J
	仙	沼	向	洋 04164F
こ		田	農	業 04152B
さ	牛			林 04145K
	佐			坂 04198A
	佐			沼 04108E
し	蔵			王 04189A
	塩	津		釜 04112C
	志			川 04130A
	柴			田 04185J
	柴	田	農	林 04149B
	白			石 04109C
	石	工		業 04156E
す	水			産 04163H
せ	仙			台 04166B
	仙	台	工	業 04170A
	仙	台	三	桜 04119A
	仙	台	商	業 04195F
	仙	台	大	志 04193K
	仙	台	第	一 04101H
	仙	台	二	三 04103D
	仙	台	第	二 04102F
	仙	台	二	華 04118B
	仙	台		西 04179D
	仙	台		東 04186G
	仙	台		南 04165D
た	仙	台	向	山 04104B
	多	賀		城 04115H
	第	さ		ら 04192A
	築	工		業 04153A
つ	貞			館 04107G
と	富			山 04175A
	登			谷 04187E
	登	米	産	米 04128K
な		総	業	業 04197B
	中	新		田 04136A
	名			取 04113A
	南	取		北 04176K
の	農			郷 04146H
は	迫			業 04140J
ひ	東	松		桜 04190E
ふ	古			島 04191C
	古	川	工	川 04105A
ま	古	川	黎	業 04154J
	松			明 04123J
み	松			島 04138G
	美	田		山 04177H
	宮	城	第	園 04196D
	宮	城	一	04117D
	宮	城	野	04188C
む	村		瀬	04181F
も	利	吉	田	04133F
り	本		響	04142E
わ	利		府	04182D
	浦		谷	04127A
	通		理	04150F
		(中等教育学校)		
せ	仙	台	青	陵 04194H
		(特別支援学校)		
い	石	卷	支	援 04453K
石	沼	高	等	学 園 04441F
女	川	高	等	学 園 04432G
角	田	支	援	04461A

金	成	支	援	04460 B
気	仙	支	援	04455 F
光	明	支	援	04454 H
け	牛	高	学	04458 A
こ	松	島	支	援 04431 J
小	松	支	援	04451 C
小	覺	支	援	04452 A
視	特	支	援	04457 B
聴	谷	別	支	援 04462 J
ち	鶴	支	援	04464 E
つ	取	支	援	04465 C
な	多	支	援	04456 D
に	西	支	援	04453 G
は	追	支	援	04442 D
ふ	船	支	援	04459 J
ふ	古	支	援	
や	山	支	援	
り	利	支	援	
私	立			
(高等学校)				
あ	飛	未	き	04521 H
お	鳥	来	ず	04515 C
し	崎	中	央	04507 B
せ	大	学	院	04512 J
	尚	網	英	04513 G
	聖	ス	学	04509 J
	聖	ラ	院	04501 C
	ド	ニ	学	04506 D
	ミ	コ	学	04514 E
	聖	台	学	04502 A
	仙	育	学	04503 K
	仙	台	学	04504 H
	白	百	学	04510 B
	台	合	学	04518 H
	東	城	南	04508 A
と	仙	台	南	04503 K
	東	北	学	04504 H
	東	学	院	04510 B
	東	北	学	04518 H
	東	学	院	04508 A
	常	盤	木	04519 F
に	西	山	学	04516 A
ふ	古	川	学	04505 F
み	宮	城	学	04511 A
め	明		成	
(中等教育学校)				
し	秀		光	04520 K
(特別支援学校)				
い	い	ず	み	04951 E
上記以外の高等学校等 04999 K				
秋 田 県				
国 立				
(特別支援学校)				
あ	秋	田	大	05051 C
	部	附	属	
(高等専門学校)				
あ	秋	田	工	05091 B
公	立			
(高等学校)				
あ	秋		田	05101 C
秋	田		北	05102 A
秋	田		業	05104 H
秋	田		商	05152 H
秋	田		中	05151 K
秋	田		西	05156 A
秋	田		鷹	05165 K
秋	田		南	05103 K
秋	田		館	05143 J
新	田		屋	05158 G
羽	明		後	05142 A
う	大		校	05168 D
お	大		院	05164 A
大	大		学	05109 J
大	大		曲	05128 E
大	大		業	05129 C
大	大		業	05130 G
男	鹿		洋	05162 E
男	鹿		工	05157 J
雄			勝	05155 B
物			川	05138 B
か	角		館	05132 C
	金		業	05105 F

**H 高等学校
等コード表**

も盲	08451E	小山北
ゆ結城特別支援	08459A	小山
私立		
(高等学校)		
あ愛国学園大学附属竜ヶ崎	08513J	鹿沼沼沼三上島学悠
い茨城キリスト教学園	08503A	黒磯
え江戸川学園取手	08515E	さくら清
か鹿島学園	08520A	さくら清
霞ヶ浦	08511B	佐佐野松
こ児陽学園	08525B	佐野松
し翔洋学園	08522H	高根
常総学	08517A	た
す水戸常城	08508B	と
せ青丘学院つくば	08533C	栃木工
清真学園	08514G	栃木商
聖徳大学附属取手聖徳女子	08518K	栃木翔女
大成女子	08504K	栃木農
第一学院(高萩校)	08526A	な那
つくば開成	08524D	那須清
つくば国際大学	08509A	那須拓
つくば国際大学東風	08532E	に日馬
つくば秀英	08521K	は益子芳
土浦日本大学	08510D	み
と東豊学園つくば松実	08531G	真
東洋大学附属牛久	08512A	真
常磐大学	08505H	真
み水戸葵陵	08519H	真
水戸啓明	08507D	真
水戸啓明	08506F	矢板
水戸平成学園	08528G	や
め茗溪学園	08516C	
明秀学園	08501E	
ルネサンス	08527J	
私立		
(中等教育学校)		
ち智学館	08530J	
つ土浦日本大学	08529E	
上記以外的高等学校等 08999A		
栃木県		
国立		
(特別支援学校)		
う宇都宮大学教育学部	09051E	
附属特別支援		
(高等専門学校)		
お小山工業高専	09091D	
公立		
(高等学校)		
あ足利工業	09131G	
足利女子	09135K	
足利清風	09175J	
足利	09132E	
い石今市	09113J	
今市工	09114G	
う宇都宮	09101E	
宇都宮	09164C	
宇都宮	09107D	
宇都宮	09108B	
宇都宮	09104K	
宇都宮	09168F	
宇都宮	09105H	
宇都宮	09106F	
宇都宮	09102C	
宇都宮	09103A	
お大田	09146E	
大田	09147C	
大田	09148A	
小山	09118K	
小山	09120A	
小山	09169D	

小山北	桜	09119H
沼沼沼三上島学悠	南	09163E
黒磯	沼	09109A
さくら清	工	09111B
佐佐野松	東	09165A
佐野松	南	09176G
高根	川	09166K
た	山	09143A
と	館	09172D
栃木工	磯	09153H
栃木商	南	09154F
栃木翔女	羽	09149K
栃木農	修	09173B
な那	野	09128G
那須清	桜	09178C
那須拓	東	09177E
に日馬	沢	09158J
は益子芳	木	09121K
み	業	09124D
真	業	09125B
真	南	09174A
真	子	09122H
真	業	09123F
真	須	09152K
真	峰	09151A
真	陽	09150C
真	峰	09170H
真	頭	09145G
真	星	09171F
真	生	09126A
真	岡	09137F
真	業	09140F
真	子	09138D
真	岡	09139B
真	岡	09142B
真	板	09155D
真	東	09156B
特別支援学校		
あ足利中央特別支援	09457K	
足利特別支援	09442A	
い今市特別支援	09443K	
う宇都宮青葉高等学園	09431F	
お岡本特別支援	09441C	
こ国分寺特別支援	09459F	
と栃木特別支援	09454E	
富屋特別支援	09456A	
那須特別支援	09455C	
のざわ特別支援	09453G	
ま益子特別支援	09458H	
み南那須特別支援	09444H	
も盲	09451A	
ろ	う	09452J
私立		
(高等学校)		
あ足利短期大学附属	09509F	
足利大学附属	09510K	
う宇都宮海星女子学院	09505C	
宇都宮短期大学附属	09504E	
宇都宮文星女子	09503G	
こ幸福の科学学園	09518E	
國學院大學栃木	09506A	
さ作新学院	09501A	
佐野清澄	09507K	
佐野日本大学	09508H	
せ青藍泰斗	09513D	
ひ白鷗大学	09511H	
日々輝学園	09516J	
ふ文星芸術大学附属	09502J	
や矢板中央	09512F	
中等教育学校		
さ佐野日本大学	09517G	
上記以外的高等学校等 09999G		
群馬県		
国立		
(特別支援学校)		

く群馬大学教育学部附	10051A	
属特別支援		
(高等専門学校)		
く群馬工業高専	10091K	
公立		
(高等学校)		
あ吾妻中央	10183E	
中総合学	園	10180A
い伊勢崎工業	業	10178J
伊勢崎工	業	10120G
伊勢崎興	業	10119C
伊勢崎商	業	10121E
伊勢崎清	明	10118E
板倉	倉	10156H
お大田(市立)	10165G	
大田(県立)	10122C	
大田工	業	10125H
大田女	子	10123A
大田東	10171A	
大田フレッ	クス	10179G
大田間	々	10155K
大尾	瀬	10151G
き桐生工	生	10113D
桐生市立商	業	10116J
桐生女	子	10162B
桐生	子	10115A
桐生	西	10168A
桐生	南	10114B
し渋川工	業	10131B
渋川女	業	10164J
渋川青	子	10132A
渋川	翠	10159B
下仁	田	10145B
勢多農	林	10104E
せた高	崎	10108H
高崎	北	10167C
高崎経済大学附属	10175D	
高崎工	業	10111H
高崎商	業	10112F
高崎女	子	10110K
高崎	東	10173H
高館	林	10129A
館林商	工	10174F
館林女	子	10130D
つ嬬玉	村	10153C
と利根商	恋	10150J
利根実	業	10166E
利根	業	10128B
富岡実	岡	10182G
富岡	業	10138K
長野	原	10149E
にし西	楽	10157F
沼田	曉	10154A
沼田女	田	10126F
は榛岡	子	10127D
ふ藤岡	名	10142H
藤岡工	北	10172K
藤岡中	業	10135E
前橋(市立)	央	10177A
前橋(県立)	10160F	
前橋	10101A	
前橋	業	10105C
前橋商	業	10106A
前橋女	子	10103G
前橋清	陵	10107K
前橋	西	10170C
前橋	東	10169K
前橋	南	10102J
前橋	井	10146A
前橋	場	10144D
よ吉	井	10143F
中等教育学校		
ち中央	10176B	
よ四ツ葉学園	10181J	
特別支援学校		
あ赤城特別支援	10442G	
吾妻特別支援	10437A	
あさひ特別支援	10454A	
い伊勢崎高等特別支援	10433H	

お太田高等特別支援	10457E	
し渋川特別支援	10456G	
しろがね特別支援	10432K	
た高崎高等特別支援	10443E	
高崎特別支援	10455J	
館林高等特別支援	10431A	
と富岡特別支援	10436B	
ぬ沼田特別支援	10434F	
ふ藤岡特別支援	10435D	
二葉高等特別支援	10444C	
ま前橋高等特別支援	10441J	
も盲	10451F	
ろ	う	10452D
わ渡良瀬特別支援	10458C	
私立		
(高等学校)		
か関東学園大学附属	10507E	
き共愛学園	10501F	
桐生第一	10502D	
くぐんま国際アカデ	ミ	10517B
一高等部		
し白根開善学校高等部	10513K	
樹徳	10509A	
た高崎健康福祉大学高	10512A	
崎		
高崎商科大学附属	10506G	
と東京農薬大学第二	10508C	
常磐	10503B	
に新島学	園	10504A
ま前橋育	英	10510E
め明和県	央	10514H
特別支援学校		
し支援学校若葉高等学	10951H	
園		
上記以外的高等学校等 10999B		
埼玉県		
国立		
(高等学校)		
つ筑波大学附属坂戸	11001K	
特別支援学校		
さ埼玉大学教育学部附	11051F	
属特別支援		
公立		
(高等学校)		
あ上尾	尾	11163F
上尾鷹の台	11266G	
上尾	橘	11248J
上尾	尾	11199G
朝霞	霞	11130K
朝霞	西	11223C
い伊奈学園総	合	11188A
伊奈間向	陽	11255A
入岩	楓	11133D
岩	業	11151B
岩	業	11151B
岩	北	11241A
浦和(市立)	11207A	
浦和(県立)	11101F	
浦和	北	11216A
浦和工	業	11141E
浦和商	業	11152A
浦和第一	子	11107E
浦和	西	11117B
浦和	東	11247A
浦和	南	11213F
浦和	宮	11126A
浦和	北	11210A
浦和	業	11143A
浦和	陵	11260H
浦和	業	11153J
浦和	央	11191A
浦和	西	11211K
浦和	東	11230F
浦和	南	11242K
お大宮		
大宮工		
大宮	光	
大宮	商	
大宮	中	
大宮		
大宮		
大宮		
大宮		
大宮		
大宮		
大宮		

大宮武蔵野	11193H	
小宮鹿野	11127K	
小川	川	11124E
小川	川	11169E
小川	西	11232B
小川	生	11168G
小川	部	11104A
小川	部	11145H
小川	部	11111C
小川	部	11203J
小川	口	11106G
小川	口	11176H
小川	口	11139C
小川	口	11279J
小川	口	11254C
小川	口	11215B
小川	(県立)	11103B
小川	(市立)	11208K
小川	工	11138E
小川	女	11109A
小川	総	11159H
小川	合	11224A
小川	越	11250A
小川	越	11184J
小川	越	11182B
小川	越	11123G
小川	喜	11144K
小川	喜	11262D
小川	北	11102D
小川	工	11146F
小川	商	11154G
小川	女	11108C
小川	谷	11183A
小川	谷	11157A
小川	谷	11274H
小川	谷	11265J
小川	谷	11161K
小川	谷	11114H
小川	谷	11122J
小川	谷	11135A
小川	谷	11261F
小川	谷	11225K
小川	谷	11245D
小川	谷	11175K
小川	谷	11120B
小川	楊	11189K
小川	戸	11136J
小川	西	11226H
小川	桜	11276D
小川	済	11258F
小川	陵	11142C
小川	陽	11243H
小川	陽	11271C
小川	木	11174A
小川	岡	11237C
小川	岡	11204G
小川	館	11150D
小川	業	11205E
小川	業	11158K
小川	社	11267E
小川	加	11129F
小川	東	11253E
小川	西	11235G
小川	南	11194F
小川	父	11125C
小川	学	11187C
小川	風	11268C
小川	盤	11116D
小川	北	11162H
小川	北	11178D
小川	業	11156C
小川	央	11234J
小川	西	11227F
小川	陽	11131H
小川	岡	11165B
小川	岡	11196B
小川	校	11231D
小川	座	11170J
小川	座	11249G
小川	座	11269A
小川	座	11273K
小川	座	11264A
小川	山	11252G
小川	生	11192K
小川	業	11190C

[illegible]

東京成徳大学13594B 東京電機大学13576D 東京都市大学等々力13654K 東京都市大学付属13658B 東京農業大学第一13653A 東京立正13680J 東星学園13707D 桐朋13728G 東邦音楽大学附属東13577B 邦 桐朋女子13559D 東洋13514D 東洋英和女学院高等13535G 部 東洋女子13578A 東洋大学京北13570E トキワ松学園13622A 豊島岡女子学園13693A 豊島学院13694J 獨協13579J な 中村13600A に 二松學舎大学附属13515B 日本工業大学駒場13660D 新渡戸文化13667A 日本音楽13615J 日本学園13656F 日本女子体育大学附13655H 属二階堂 日本体育大学荏原13631A 日本体育大学桜華13724D 日本大学櫻丘13657D 日本大学第一13598E 日本大学第三13664G 日本大学第二13681G 日本大学鶴ヶ丘13682E 日本大学豊山13580B 日本大学豊山女子13702C は 八王子学園八王子13713J 八王子実践13714G ひ 広尾学園13526H ふ 富士見13704K 富士見丘13557H 藤村女子13734A 雙葉13516A 普連土学園13536E 文化学園大学杉並13676A 文華女子13740F 文京学院大学女子13581A 文教大学付属13618C ほ 法政大学13735K 宝仙学園13669H 豊南13695G 朋優学院13614A 保善13544F 堀越13670A 本郷13696E み 三田国際学園13532B 明星学園13737F 星学園13517J む 武蔵(私立)13705H 武蔵蔵野13595A 武蔵野大学13739B 武蔵野大学附属千代13512H 田高等学院 村田女子13582J め 明治学院13537C 明治学院東村山13725B 明治大学付属中野13671K 明治大学付属中野八13745G 王子 明治大学付属明治13518G 明星13717A 明法13726A 目黒学院13624H 目黒星美学園13659A 目黒日本大学13623K 目白研心13545D や 八雲学園13626D 安田学園13599C 山脇学園13539K り 立教池袋13750C 立教女学院13683C 立志舎13749K 立正大学付属立正13617E わ 和光13661B	早稲田13546B 早稲田大学系属早稲13547A 田実業学校高等部 早稲田大学高等学院13561F 和洋九段女子13519E (特別支援学校) あ旭出学園高等部13951D (高等専門学校) さサレジオ工業高専13991C 上記以外の高等学校等13999J 神奈川県 国立 (特別支援学校) よ横浜国立大学教育学14051B 部附属特別支援 公立 (高等学校) あ愛相川14263J 相原14166G 生14268K 麻生総合14295G 旭14115B 麻溝台14171C 足柄14198E 厚木14177B 厚木14226D 厚木商14179J 厚木清14301E 厚木木14271K 厚木東14178A 厚木綾14201J 厚木瀬14262A い生西14261B 生田14136E 伊勢14195A 磯子工14180B 磯子工14182J 磯子工14194B 磯子工14116A 磯子工14121G え荏原14227B 海老名14234E おお大大14260D 大大大14185C 大大大14241H 小田船14258B 小田原14157H 小田原北工14161F 小田原東14307D 小田原浜14142K か海洋科14305H 井14126H 奈川工業14102A 神奈川総14284A 神奈川総14300G 神奈川総14205A 金沢総合14298A 鎌倉14150A 釜谷14267A 上間14199C 上溝14167E 上矢14172A 上矢部14252C 川崎(市立)14208F 川崎(県立)14129B 川崎北14132B 川崎工科14316C 川崎総合14217E 川崎総合14120J 根14250G き岸望ヶ14113F 霧が丘14122E こ港北14119E 光陵14111K さ幸14216G 相模向陽館14319H	相模田名14283C 相模原(県立)14169A 相模原青陵14318K 相模原総合14291D 相模原総14204C 相模原寒14223K 座間14184E 座間総合14312A し七浜14152G 商工14112H 湘南14153E 湘台14272H 松陽14125K 城郷14279E 城山14188H 新栄14251E 荏原14131D 菅14256F 住吉14240K 住子14165J 逗葉14222A 逗葉14160H せ西谷14127F 瀬西14220E 瀬西14209D た高浜14147A 高橋14210H 田多14219A 多摩14134J 大井14255H ち茅ヶ崎14162D 茅ヶ崎西14242F 茅ヶ崎北14163B 茅ヶ崎農14183G つ津久井14189F 津久井14174H 鶴見14101B 鶴見総合14297C 鶴見山14164A と戸塚14206K 永谷14272A 新羽14191H 二宮14224H は白柏山14123C 柏橋14124A 橋本14225F 秦野14175F 秦野総合14309A 秦野屋14281G ひ東取14207H 永水14254K 水平科14289B 平塚南14143H 平塚工業14148J 平塚商14311B 平塚風14145D 平塚農14145D ふ深沢14277J 藤沢工科14290F 藤沢流14317A 藤沢総合14296E 藤沢西14155A 二俣川看護14114D 二俣川看護14228A 岡14128D ほ保土ヶ谷14299K 舞浦初14285K 三浦初14202G みなと総合14135G む向岡工14266C も弥石川14262C や山北14186A 大山14181A 大和14278G 大和東14247G 大和南14200A 大和合14137C ゆ横須賀(県立)14138A 横須賀大14139K 横須賀工業14140C 横須賀総合14292B 横須賀明光14306F 横濱校陽14288D 横濱校陽14294J 横濱国際14302C	横浜サイエンスフロンティア14315E 横浜栄14310D 横浜悠館14304K 横浜商業14212D 横浜嵐14103J 横浜清合14293A 横浜総合14286H 横浜立野14106C 横浜南陵14287F 横浜沼14104G 横浜緑ヶ丘14105E 横浜明朋14321K 横浜緑島14303A 横浜田島14320A (中等教育学校) さ相模原14314G ひ平塚14313J (特別支援学校) あ麻生養護14446A い伊勢原養護14473J 岩戸養護14431C えびな支援14437B お小田原養護14474G か金沢養護14448H 鎌倉養護14467D 上菅田特別支援14469A 川崎市立ろう14470D こ港南台ひの特別支援14468B さ相模原中央支援14436D 相模原養護14460G 座近山特別支援14438A 座間養護14459C し湘南養護14464K せ瀬谷養護14453D た高津養護14462C 武島支援14457G 田島支援14478K ち茅ヶ崎養護14442J 茅ヶ崎中央支援14477A つ津久井養護14445C 鶴見養護14461E な中村養護14456J 中村特別支援14452G は秦野養護14443G ひ東野特別支援14434H 日野中央高等特別支援14476C 援 平塚盲14451H 平塚養護14458E 平塚ろう14452F ふ藤沢市立白浜養護14441A 藤沢養護14463A 二つ橋高等特別支援14447K ほ保土ヶ谷養護14455A 本郷特別支援14475E み三ツ境養護14454B みどり養護14472A も盲特別支援14465H よ横須賀市立ろう14471B 横濱ひなたやま支援14450K 横濱南養護14444E ろろう特別支援14466F わ若葉台特別支援14435F 私立 (高等学校) あ青山学院横浜英和14508E 浅野14511E 旭丘14559K 麻布大学附属14566B 厚木中央14580H アレセイア湘南14560C え栄光学園14543C お大西学園14536A か鹿島山北14588C 柏木学園14579D 神奈川学園14512C 神奈川大学附属14571J 鎌倉大学14544A 鎌倉女子学院14545K 鎌倉女子大学高等部14547F	カリタス女子14537J 関東学院14507G 関東学院六浦14528K 函嶺百合学園14569G 北鎌倉女子学園14546H く鶴沼14549B 公文国際学園高等部14578F け慶應義塾14523J 慶應義塾湘南藤沢14577H 等部 こ向14557C さ相模女子大学高等部14564F 相模原(私立)14563H サレジオ学院14538G し秀英14575A シユタイナー学園高14586G 等部 湘南学院14532H 湘南学園14551D 湘南工科大学附属14550F 湘南百合学園14552B す逗子開成14562K せ聖光学院14506J 星槎14584A 清心女子14570A 聖セシリア女子14567A 清泉女学院14548D 聖ヨゼフ学園14518B 聖和学院14561A 洗足学園14539E そ相模女子学校高等学部14514K 相模洋14558A た高木学園女子14522A 橘学苑14516F 立花学園14568J ち中央大学附属横浜14505A つ鶴見大学附属14517D と桐蔭学園14524G 東海大学付属相模14565D 桐光学園14573E 藤嶺学園藤沢14554J に日本女子大学附属14541G 日本大学14525E 日本大学藤沢14553A は白鵬女子14515H ひ平塚学園14542E ふフェリス女学院14501H 藤沢翔陵14555G 武相14526C ほ法政大学国際14519A 法政大学第二14540J み三浦学苑14533F 聖園女学院14556E 緑ヶ丘女子14534D も森村学園高等部14574C や山手学院14531K よ横須賀学院14535B 横濱浜14530A 横濱学園14527A 横濱共立学園14503D 横濱商科大学14520D 横濱女学院14504B 横濱翠陵14576K 横濱清風14510G 横濱創英14513A 横濱創学館14529H 横濱隼人14572G 横濱富士見丘学園14587E 横濱雙葉14502F (中等教育学校) し自修館14582D と桐蔭学園14581F よ横浜富士見丘学園14585J (特別支援学校) ひ聖坂養護学校高等部14952H よ横浜訓盲学院高等部14951K 上記以外の高等学校等14999D 新潟県 国立
--	--	--	--	--

[illegible]

府 甲府県 南陵19107J 摩19135D 根19113C 央19111G 留19123A 館19143E 崎19104D 業19105B 林19112E 川19120F 丘19141J 吹19142G 湖19131A 榎19140A 杜19139G 業19114A 延19117F 梨19121D 田19126E
--

(特別支援学校)

あけほの支援19454K
かえで支援19441H
こ高等支援学校桃花台19431A
学園

甲府支援19453A
ふじぎくら支援19457D
も盲19451E
やまびこ支援19456F
ろわかば支援19452C
う19452C
わ19455H

私立

(高等学校)

か斐清和19502C
し駿然学園19511B
て帝京第三19508B
と東海大学付属甲府19506F
に日本大学明誠19507D
ふ富士学苑19509A
みや山延19503A
や山梨英和19501E
山梨学院19505H

H 高等学校
等コード表

H 高等学校
等コード表

いなみ野特別支援28473E いぶき明生支援28436A う上野ヶ原特別支援28462K か加古川養護28478F 加西特別支援28481F 川西養護28472G 北はりま特別支援28480H こ高等特別支援28483B 神戸聴覚特別支援28452B 神戸特別支援28470A こやの里特別支援28471J さ篠山養護28482D し視覚特別支援28451D 書写養護28467A せ青陽須磨支援28443C 青陽東養護28459K た宝塚市立養護28463H に西神戸高等特別支援28437J 西宮養護28466B 西はりま特別支援28441G のじぎく特別支援28446H は播磨特別支援28455G 阪神昆陽特別支援28433F 阪神特別支援28453A ひ水上特別支援28474C 東はりま特別支援28444A ひまわり特別支援28435B 姫路しらさぎ特別支28434D 姫路聴覚特別支援28454J 姫路特別支援28468J も盲(市立)28457C ゆ友生支援28458A わ和田山特別支援28484A	な灘28503A に仁川学院28531F は白川学院28540E ひ日ノ本学院28542A 雲雀丘学院28524C 兵庫県播磨28541C 兵庫大学附属須磨ノ浦28521J ほ報徳学院28530H む武庫川女子大学附属28532D ゆ百合学院28527H ろ六甲学院28504J 上記以外的高等学校等28999A	ち智辯学園29509E 智辯学園奈良カレッジ高等部29518D て帝塚山29502H 天理29503F 天理教校学園29512E と東大寺学園29506A な奈良育英29501K 奈良学園29513C 奈良学園登美ヶ丘29519B 奈良女子29504D 奈良大学附属29505B 奈良文化29510J に西大和学園29515K 日本教育学院29521D	(高等学校) か開智30502C き近畿大学附属新宮30505H 近畿大学附属和歌山30507D け慶風30510D こ高野山30501E ち智辯学園和歌山30506F は初芝橋本30509A りりら創造芸術30511B わ和歌山信愛30503A 和歌山南陵30508B 上記以外的高等学校等30999A	ま松江工業高専32091K 公立 (高等学校) い飯出南32110K 出雲工業32112F 出雲商業32113D 出雲商業32114B 出雲農林32115A お大田32117G 隠岐32132A 隠岐水産32134G 隠岐前32133J こ江津工業32122C し島根中央32123A 島根道32139H 大津32140A 大津実業32137A 大津報科32116J 大津東32107K つ津和野32131B 津摩32118E は田32124K 浜田32125H 浜田産32126F ひ田32111H ま田32127D 益松陽32138K 益松北32102J 益松工業32105C 益松商業32106A 益松市立女子32135E 益松農林32104E 益松江東32136C 益松南32103G 益松三屋32109F み矢上32121E や矢来32101A よ横田32108H 吉質32130D	(特別支援学校) い出雲養護32455J 石見養護32456G お隠岐養護32461C こ江津清和養護32459A は浜田養護32460E ま益田養護32441J 松江清心養護32454A 松江緑が丘養護32457E 松江養護32458C 松江ろう32452D も盲32451F 私立 (高等学校) い出雲西32507E 石見北陵32506G 石見智翠館32508C か開クリスト教愛真32513K き松徳学院32504A ま益田東32512A 松江西32505J め明誠32509A り立正大学南32502D 上記以外的高等学校等32999B
岡山県					
国立 (特別支援学校) お岡山大学教育学部附属特別支援33051F (高等専門学校) つ津山工業高専33091E 公立					

高等学校
コード表

H 高等学校
等コード表

ゆわ若松商業	40108A 40122G 40123E
(中等教育学校)	
き輝翔館	40226F
(特別支援学校)	
いの松原特別支援	40474J
今津特別支援	40478A
お大牟田特別支援	40477C
小郡特別支援	40472B
き北九州高等学園	40481A
北九州視覚特別支援	40453F
北九州中央高等学園	40442A
く久留米特別支援	40467F
こ小池特別支援	40480C
古賀特別支援	40432C
小倉北特別支援	40460J
小倉総合特別支援	40437D
小倉南特別支援	40463C
た田主丸特別支援	40462E
太宰府特別支援	40434K
ち筑後特別支援	40468D
つ筑城特別支援	40431E
の直方特別支援	40435H
は博多高等学園	40441B
ひ福岡特別支援	40473A
ふ福岡高等学園	40476E
福岡高等視覚特別支援	40482K
福岡高等聴覚特別支援	40479K
福岡中央特別支援	40461G
福岡特別支援	40458G
み南福岡特別支援	40471D
も門司総合特別支援	40436F
や屋形原特別支援	40443J
柳河特別支援	40433A
八幡特別支援	40466H
八幡西特別支援	40469B
わ若久特別支援	40470F
私立	
(高等学校)	
い飯塚	40517F
お大牟田	40545A
沖学園	40537A
折尾愛真	40502H
き希望が丘	40560E
九州国際大学付属	40513C
九州産業大学付属九	40557E
九州産業大学付属九	40534F
九州産業	
近畿大学附属福岡	40520F
仰星学園	40566D
く留米学園	40551F
久留米信愛	40547H
久留米大学附設	40548F
け敬愛	40507J
成	40505B
こ高稜	40501K
し真由ヶ館	40503F
自由ヶ	
純智福	40526E
す杉華女	40527C
せ精誠南学院	40549D
西学院	40528A
西南女学院	40506A
琳	40556G
た立花	40544C
第一薬科大学付属	40562A
ち筑紫女学院	40531A
筑紫台	40530C
筑陽学園	40532K
つくば開成福岡	40569J
と東海大学付属福岡	40563K
常磐	40508G
な中村学園三陽	40564H
中村学園女子	40533H
に西日本短期大学附属	40559A

は博多女子	40535D
博多女子	40536B
ひ東筑紫学園	40509E
福岡第一	40538J
ふ福岡海星女子学院	40558C
福岡工業大学附属城	40541J
福岡常葉	40561C
福岡女学院	40539G
福岡女子商業	40570B
福岡第一	40540A
福岡大学附属大濠	40524J
福岡大学附属若葉	40525G
福岡雙葉	40542G
福岡舞鶴	40543E
福岡智	40523A
ほ豊国学園	40510J
み萩野女子	40511G
め明光学園	40553B
明治学園	40512E
明達館	40567B
や柳大和青	40554A
大和青	40522B
八女学院	40555J
ゆ祐誠	40546K

(中等教育学校)

りリンドenhホールスク	40568A
ール中高中学部	

上記以外の高等学校等 40999F

佐賀県

国立

(特別支援学校)

さ佐賀大学教育学部附	41051K
属特別支援	

公立

(高等学校)

あ有田工	41126E
い伊万里	41107J
伊万里商業	41131A
伊万里実業	41143E
伊万里農	41121D
う牛津	41109E
嬉野	41133H
お小城	41108G
か鹿島	41111G
鹿島実業	41136B
唐唐津	41127C
唐唐津青	41132K
唐唐津	41139G
唐唐津	41105B
唐唐津	41104D
唐唐津	41123A
神神埼	41114A
神神埼清商	41120F
き杵島	41134F
厳木	41106A
こ高志賀館	41119B
さ佐賀	41102H
佐賀工業	41124J
佐賀商	41130C
佐賀賀農	41101K
佐賀賀	41122B
佐賀賀	41103F
し塩田工	41129K
白石	41115K
た多武良	41128A
久雄	41110J
良	41117F
ち致遠館	41138J
と鳥栖	41112E
鳥栖工商	41125G
鳥栖商	41135D
み三養基	41113C

(特別支援学校)

い伊万里特別支援	41456F
ううれしの特別支援	41442F

か唐津特別支援	41441H
き金立特別支援	41453A
な中原特別支	41431A
も盲和特別支	41451E
や大和特別支	41454K
ろろ	41452C

私立

(高等学校)

け敬徳	41506F
こ弘学館	41507D
さ佐賀学園	41504K
佐賀女子短期大学付	41503A
属佐賀女子	
佐賀清和	41502C
と東明館	41508B
ほ北陵	41505H
り龍谷	41501E
わ早稲田佐賀	41509A

上記以外の高等学校等 41999A

長崎県

国立

(特別支援学校)

な長崎大学教育学部附	42051E
属特別支援	

(高等専門学校)

さ佐世保工業高専	42091D
----------	--------

公立

(高等学校)

い壹岐	42148A
壹岐商	42149K
早早農	42118K
早農	42119H
諫早	42163E
諫早	42166K
う宇久	42142B
おお崎	42133C
大村	42115E
大村	42117A
大村	42116C
小浜	42128G
か上馬	42146E
上馬	42151A
川棚	42129E
く国見	42124D
こ口加	42126A
五島	42143A
五島海	42153H
五島	42145G
さ世保	42110D
世保工業	42113J
世保商	42112A
世保中	42162G
世保東	42114G
世保西	42111B
世保南	42109A
し鹿島	42140F
島原	42120A
島原工商	42123F
島原商	42122H
島原翔	42170H
島原農	42121K
世西彼農	42132E
峰	42136H
つ西陵	42168F
対馬	42150C
豊玉	42152K
中島	42147C
長崎鶴	42106F
長崎	42104K
長崎工商	42105H
長崎商	42155D
長崎	42102C
長崎北	42101E
長崎陽	42164C
長崎	42103A

長崎明誠	42131G
留	42154F
滝	42169D
に西彼	42130J
は波佐	42160A
ひ平	42135K
ほ北松	42141D
北松農	42138D
ま松浦	42137F
ゆ猶興館	42134A

(特別支援学校)

い諫早特別支援	42453G
か鶴南特別支援	42458H
川棚特別支援	42432D
き希望が丘高等特別支援	42457K
援	
さ桜が丘特別支援	42454E
佐世保特別支援	42456A
し島原特別支援	42441C
な長崎特別支援	42431F
に虹の原特別支援	42459F
も	42451A
ろ	42452J

私立

(高等学校)

か海星	42501A
活水	42503G
き九州文化学園	42514B
け瓊浦	42505C
こ向陽	42516J
こころ	42523A
さ西海学園	42512F
佐世保実業	42519C
し島原中央	42518E
島心女子	42507K
せ青雲	42521E
精道三川台	42522C
聖母の騎士	42511H
聖和女子学院	42515A
そ創成館	42510K
ち鎮西学院	42517G
な長崎	42506A
長崎玉成	42504E
長崎女子商業	42508H
長崎総合科学大学附	42509F
属	
長崎南山	42502J
長崎日本大学	42520G
ひ久田学園佐世保女子	42513D

上記以外の高等学校等 42999G

熊本県

国立

(特別支援学校)

く熊本大学教育学部附	43051A
属特別支援	

(高等専門学校)

く熊本高専	43093F
-------	--------

公立

(高等学校)

あ芦北	43137A
阿蘇中	43162B
天草	43145B
天草工業	43154A
天草拓心	43167C
う牛深	43168A
宇津	43129A
お大津	43119C
小川工	43131B
小川工業	43123A
か上天草	43164J
本	43114B
鹿本	43115A
鹿本農	43116J
き菊池	43117G

菊池農	43118E
く球磨工業	43143F
球磨中	43169K
熊本	43102J
熊本	43160F
熊本	43106A
熊本	43107K
熊本	43105C
熊本	43108H
熊本	43127D
こし	43120G
せ	43101A
た岱	43166E
岱高	43124K
高玉	43110K
玉名工	43112F
玉第	43103G
第	43104E
ち千原	43157F
と東南	43161D
なひ	43170C
ひ必由	43156H
人北	43140A
ま松橋	43111H
み水御	43130D
や八八	43165G
八八	43126F
八八	43132E
八八	43163A
八八	43136C
八矢代	43133J
ゆ湧心館	43128B
湧心館	43159B

(特別支援学校)

あ芦北支	43442G
天草支	43457E
荒尾支	43456G
お大津支	43459A
小国支	43445A
き菊池支	43441J
く球磨支	43458C
熊本かがやきの森支	43431A

援熊本支	43454A
熊本はばたき高等支	43433H
援熊本ろ	43452D
黒石原支	43460E
ひのくに高等支	43444C
ひ平成さくら	43432K
ま松橋支	43453B
松橋西支	43455J
も盲	43451F
や八代支	43446K
れ苓北支	43443E

私立

(高等学校)

あ有明	43516D
か開新	43505J
き菊池女	43520B
九州学院	43508C
く熊本大学付属	43514H
熊本国府	43512A
熊本信愛女学院	43503B
くまもと清陵	43524E
熊本中央	43504A
熊本マリスト学園	43515F
け慶誠	43509A
し秀岳	43513K
尚綱	43502D
真城	43519J
北	43522J
せ専修大学玉	43521A
た玉名女	43510E
ち鎮西	43506G
と東海大学付属熊本	43518A
翔	
つ	43525C
ひ一文	43517B
や八代白百合学園	43507E
ゆ勇志国際	43523G

[illegible]

2 高等学校卒業程度認定試験等, 外国の学校等, 文部科学大臣の指定した者, 認定, 在外教育施設, 専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに合格見込みの者, 又は令和元年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
52000E	外国の学校等	外国において, 学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者, 又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
53000A	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者, 国際バカロレア資格取得者, アビトゥア資格取得者, バカロレア資格(フランス共和国)取得者, GCEA レベル取得者, 国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者, その他文部科学大臣の指定した者(旧制諸学校出身者等)
54000F	認定	大学において, 個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者)であつて, 当該者をその後に入学者とする大学において, 大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
55000A	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
56000G	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を卒業(修了)した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに卒業見込み(修了見込み)の者

志望大学の選抜実施日程

大学入試センター試験利用大学の令和2年度入学者選抜の主な実施日程は次のとおりです。

(1) 国公立大学

入学者選抜要項発表	【令和元年】 7月31日（水）まで
募集要項発表	12月15日（日）まで
推薦入試（大学入試センター試験を課さない場合）の結果発表（実施大学のみ）	【令和2年】 1月24日（金）まで
出願期間（前期日程、後期日程、公立大学中期日程への出願）	1月27日（月）から2月5日（水）まで
第1段階選抜（前期日程）、推薦入試（大学入試センター試験を課す場合）、AO入試の結果発表（実施大学のみ）	2月12日（水）まで
第1段階選抜（公立大学中期日程）の結果発表（実施大学のみ）	2月20日（木）まで
国公立大学の前期日程試験実施	2月25日（火）から
第1段階選抜（後期日程）の結果発表（実施大学のみ）	2月28日（金）まで
公立大学の中期日程試験実施	3月8日（日）以降
公立大学の前期日程合格発表	3月1日（日）から3月10日（火）まで
国立大学の前期日程合格発表	3月6日（金）から3月10日（火）まで
国公立大学の後期日程試験実施	3月12日（木）以降
公立大学の中期日程合格発表	3月20日（金）から3月23日（月）まで
国公立大学の後期日程合格発表	3月20日（金）から3月24日（火）まで

（注）選抜実施日程は大学によって上表と異なる場合がありますので、必ず各大学の募集要項等で確認してください。

(2) 私立大学・公私立短期大学

大学入試センター試験を利用する私立大学・公私立短期大学の入学者選抜の実施日程については、大学入試センター試験の実施前に出願受付を行う大学や2月以降に出願受付を行う大学など様々です。それぞれの実施日程は、各大学の募集要項等で確認してください。

こんなときは？

分からない	出願資格（証明書類）	→ p. 6
	出願方法	→ p.11
	志願票の記入方法	→ p.18
	検定料等の払込方法	→ p.24
届かない	確認はがき	→ p.26
	受験票	→ p.30
変更したい	住所、氏名、電話番号の変更	→ p.34
再発行してほしい	受験票・成績請求票	→ p.35
追加発行してほしい	成績請求票（国公立AO入試用、私立大学・公私立短期大学用のみ）	
過年度成績利用大学に出願したい	過年度成績請求票発行	
高卒認定について知りたい	文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係 TEL 03-5253-4111（代）	

大学入試センター試験に関するよくある質問はこちら

「センター試験Q&A（よくある質問）」

<https://www.dnc.ac.jp/center/faq.html>

スマートフォン用サイトもあります → <https://www.dnc.ac.jp/sp/>



志願者問合せ専用電話（大学入試センター事業第1課）

TEL 0570-024-550（ナビダイヤル）

上記ナビダイヤルが繋がらない方：03-3465-8600

9:30～17:00（土・日曜，祝日，12月29日～1月3日を除く）

（電話での問合せが難しい障害のある方専用FAX）

FAX 03-3485-1771

〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23

独立行政法人 大学入試センター事業第1課

<https://www.dnc.ac.jp/>

非売品